

3. 稲沢市教育委員会点検・評価シート（令和4年度）

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
1	教育委員の活動状況	庶務課
施策の目標 (基本方針)	教育委員会は、住民の意思を反映し、地域の実情に応じた教育行政を推進していくため、教育委員として職務遂行に必要な知識を得、意見交換を行い、重要案件について審議・決定を行う。	
《これまでの取組状況》		
<p>○教育委員会会議を毎月1回開催し、教育に関する一般方針の策定、教職員の人事内申、及び職員の任命、教育委員会規則の制定・改正、教育予算について意見の申出、社会教育委員その他特別職員の委嘱等を審議・決定した。</p> <p>○愛知県市町村教育連合会、全国都市教育長会、東海北陸都市教育長会、尾張部都市教育長会の総会・会議及び行政視察研修などへ参加した。</p> <p>○平成20年度より外部評価委員会を設置し、教育委員会の活動の自己点検・評価を実施。</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	教育委員の選任状況			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)の改正に伴い、平成27年12月24日からは、市長が議会の同意を得て任命する教育長及び4人の委員で組織されており、教育長の任期は3年、委員の任期は4年である。これにより教育委員の数が5人から4人へ減員となったものの、教育行政を市民の立場からチェックする機能を強化するため、定数条例を制定し、平成29年2月1日から教育委員を5人体制に戻した。</p> <p>委員の選任にあたっては、同法により年齢、性別、職業等に偏りが無いよう配慮し、委員に保護者である者を含まなければならない。</p>			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	1人の任期満了(1月31日)に伴い、2月1日に新たに1人が就任。 【委員構成】元小中学校校長1人、医師会代表1人、保護者代表1人、会社役員1人、元小学校教頭1人の5人(男性3人、女性2人)	1人の任期満了(10月23日)に伴い、10月24日に再任。 【委員構成】元小中学校校長1人、医師会代表1人、保護者代表1人、会社役員1人、元小学校教頭1人の5人(男性3人、女性2人)	1人の任期満了(10月5日)に伴い、10月6日に新たに1人が就任。 【委員構成】元小中学校校長1人、医師会代表1人、保護者代表1人、会社役員1人、元小学校教頭1人の5人(男性3人、女性2人)	
令和4年度の変更点・改善点	選任にあたっては、男女比率に配慮したほか、退任者が保護者代表であったため、選任者も保護者代表から選任し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の要件を満たすよう努めた。			
事業名②	教育委員会会議の開催			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	稲沢市教育委員会会議規則により、毎月1回開催し、重要案件についての審議・決定を行う。人事案件等、必要に応じて臨時に開催する。			
年 度	令和2年(暦年)	令和3年(暦年)	令和4年(暦年)	
実施状況	定例会 12回 臨時会 14回(人事・予算案件等) 審議・議決88件	定例会 12回 臨時会 8回(人事・臨時休館案件等) 審議・議決70件	定例会 12回 臨時会 2回(人事案件) 審議・議決33件	
令和4年の変更点・改善点	稲沢市教育委員会教育長に対する事務委任規則(昭和34年稲沢市教育委員会規則第4号)について、一部改正を実施し、令和4年は要綱により設置される委員会の委員の委嘱や施設の休館日について報告事項とし、議決事項を整理して会議運営の効率化を図った。			
事業名③	教育委員会会議の公開			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、稲沢市教育委員会会議規則により会議を原則公開する。			
年 度	令和2年(暦年)	令和3年(暦年)	令和4年(暦年)	
実施状況	開催日時をホームページで周知 会議録をホームページで公開 傍聴者数延21人	開催日時をホームページで周知 会議録をホームページで公開 傍聴者数延24人	開催日時をホームページで周知 会議録をホームページで公開 傍聴者数延25人	
令和4年度の変更点・改善点	教育委員会で会議録承認後、速やかにホームページに公開するようにした。			

事業名④	事務局、学校及び市長部局との連携			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	保護者や地域住民の意向を踏まえた教育行政を推進するため、校長会や総合教育会議を通して情報提供や意見交換を行い、意思疎通を図る。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	所管施設（学校等）への訪問 校長会との意見交換・情報提供 総合教育会議の開催	所管施設（学校等）への訪問 校長会との意見交換・情報提供 総合教育会議の開催	所管施設（学校等）への訪問 校長会との意見交換・情報提供 総合教育会議の開催	
令和4年度の変更点・改善点	総合教育会議の議題の参考資料について、事前に教育委員に配布し、共通理解を図った上で、会議当日の意見交換を円滑に行えるよう改善した。			
事業名⑤	研修会等への参加			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	知識向上及び他市との情報交換等を行うため、研修会等に参加する。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	行政視察研修は隔年実施のため、令和2年度は実施せず 愛知県市町村教育委員会連合会（総会）、全国都市教育長協議会、東海北陸都市教育長協議会、尾張部都市教育長会議	行政視察研修は新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、視察先への依頼等が困難なため、実施せず。 愛知県市町村教育委員会連合会（総会）、全国都市教育長協議会、東海北陸都市教育長協議会、尾張部都市教育長会議	行政視察研修は新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、視察先への依頼等が困難なため、実施せず。 愛知県市町村教育委員会連合会（総会）、全国都市教育長協議会、東海北陸都市教育長協議会、尾張部都市教育長会議、市町村教育委員研究協議会	
令和4年度の変更点・改善点	東海北陸都市教育長協議会は、オンラインで開催された。その他は対面で開催された。また、令和元年度依頼の開催となる市町村教育委員研究協議会の研修会（文部科学省主催・開催地東京都）に教育委員1名が参加し、いじめ問題に関する意見交換を行った。			
事業名⑥	教育委員会の活動の自己点検・評価			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に伴い、その権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表する。また、点検・評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	令和元年度主要施策（31施策84事業）の取組について実施報告書を教育委員会および議会へ提出、ホームページに掲載（8月）	令和2年度主要施策（31施策83事業）の取組について実施報告書を教育委員会および議会へ提出、ホームページに掲載（8月）	令和3年度主要施策（31施策83事業）の取組について実施報告書を教育委員会および議会へ提出、ホームページに掲載（8月）	
令和4年度の変更点・改善点	点検評価シートの実施状況欄について、前年度との比較がしやすいように、数値を記載できる項目については可能な限り数値を記載するよう引き続き改善に努めた。			

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となっていた各種会議や研修などが順次対面で再開される中で、積極的に参加し、見識を深めることが出来た。
《課題および今後の方針》
○教育委員による行政視察研修については、引き続き見送りとしたが、新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に引き下げられたことから、再開に向けて視察方法等を検討していく。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
2	校区再編の検討	庶務課
<p>施策の目標 (基本方針)</p>	<p>区画整理事業等の進展により、下津小学校では児童数が急増し、平成31年度には1,000人を超え、過大規模校になることが想定され、学校管理運営上支障をきたす恐れがある。一方、その近隣には、少子高齢化による影響で児童数に対して学校規模に余裕のある学校もある。このことから、既存の学校施設を有効に活用し、下津小学校の過大規模化を解消するため、通学区域の見直しが必要と考えられる。</p> <p>また、治郎丸中学校においても、今後生徒数増加が見込まれるため通学区域の見直しが必要になると考えられる。</p> <p>そのため通学区域審議会を設置し答申をいただき、校区再編事務を進めていく。</p>	
<p>《これまでの取組状況》</p> <p>○通学区域審議会から平成29年2月28日に答申を受けた。その内容は「通学時の安全性を考慮し、現行よりも通学距離が遠くならない範囲で、平成31年度から原則として行政区単位での変更を行う」ことを旨として、小学校区については、エムズシティ稲沢、ミッドレジデンス稲沢及びプレミアムフォート稲沢の3行政区を稲沢東小学校区に変更し、中学校区については、古杖北、古杖中、古杖南、駅南、稲沢駅前住宅、稲沢フラットの6行政区を稲沢中学校区に変更することが、最良の方法であるとの内容である。</p> <p>○市教育委員会事務局としては、この答申を踏まえ今後の対応を協議し、校区再編に向けて事務を進めることとした。</p> <p>○平成29年4月定例教育委員会にて、通学区域審議会からの答申に沿って、今後の事務を進めていく承認を得る。</p> <p>○平成29年度は校区再編対象地区、関係団体、体育振興会等に周知の文書を配布、説明会、意見交換会等を複数回行った。</p> <p>また、愛知県一宮建設事務所と夢逢橋を通学路で利用する際の安全性確保について協議、その後安全対策に係る要望書を提出した。</p> <p>○意見交換会等で3マンション保護者から兄弟姉妹のいる家庭について、学校選択の予備調査の要望が出たため、平成29年末から平成30年1月に実施した。</p> <p>○予備調査の集計結果について、平成30年3月に市のホームページで公表するとともに該当世帯に戸別配布した。</p> <p>○平成29年度に行った説明会等での保護者等からの要望等についてとりまとめ、中間報告として市ホームページで公表した。</p> <p>○平成30年3月19日に、3マンションの子ども会役員（平成29年度、平成30年度予定）等に説明会を行った。</p> <p>○平成31年4月1日から、小学校区については、エムズシティ稲沢、ミッドレジデンス稲沢及びプレミアムフォート稲沢の3行政区を下津小学校区から稲沢東小学校区に変更し、中学校区については、古杖北、古杖中、古杖南、駅南、稲沢駅前住宅、稲沢フラットの6行政区を治郎丸中学校区から稲沢中学校区に変更した。</p> <p>○エムズシティ稲沢、ミッドレジデンス稲沢及びプレミアムフォート稲沢の3行政区について、当初は、低学年中心の通学団となるため、令和元年度から令和3年度まで登下校時の付き添い業務を委託し、児童の安全確保を図った。</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	通学区域変更の関係機関等との調整			□新規	☑重点	☑継続
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区域変更に係る関係機関と話し合い、調整を図る。 ・校区見直しの際に配慮が必要な兄弟姉妹のいる世帯に対して希望校調査を行い、結果を学校教育課に伝え、「指定校変更」、「就学通知」等事務手続きを円滑に進める。 					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校区見直しの際に配慮が必要な兄弟姉妹のいる世帯に対して希望校調査を実施。 ・調査結果を受け、学校教育課で「指定校変更」、「就学通知」等事務手続きを実施。 ・エムズシティ稲沢、ミッドレジデンス稲沢及びプレミアムフォート稲沢の3行政区について、令和元年度に引き続いて登下校時の付き添い業務を委託。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区見直しの際に配慮が必要な兄弟姉妹のいる世帯に対して希望校調査を実施。 ・調査結果を受け、学校教育課で「指定校変更」、「就学通知」等事務手続きを実施。 ・エムズシティ稲沢、ミッドレジデンス稲沢及びプレミアムフォート稲沢の3行政区について、令和2年度に引き続いて登下校時の付き添い業務を委託。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区見直しの際に配慮が必要な兄弟姉妹のいる世帯に対して希望校調査を実施。 ・調査対象者2世帯2名について、いずれも稲沢東小学校を選択されたため、下津小学校への指定校変更手続きは実施しなかった。 			
令和4年度の変更点・改善点	令和元年度から実施していた通学団安全確保業務については令和3年度で終了となったため、今年度から児童と保護者による通学に変更となった。昨年度から児童と保護者のみでの通学に向け準備を進めていたため、問題なく通学することが出来た。					

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
校区見直しの際に配慮が必要な兄弟姉妹のいる世帯に対して希望校調査を実施。年々件数は減少しており、令和4年度の調査対象者は2世帯2名のみで、いずれも稲沢東小学校への通学を選択された。
《課題および今後の方針》
エムズシティ稲沢、ミッドレジデンス稲沢及びプレミアムフォート稲沢の3行政区については、令和元年度の校区見直しから4年が経過し、下津小学校に通う兄弟がいる調査対象者が減少傾向にあるが、引き続き調査対象者の把握と調査の実施に努めていく。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
3	学校施設整備事業	庶務課
施策の目標 (基本方針)	○保護者、学校関係者等からの要望が多い小中学校普通教室等の空調設備（エアコン）設置について、市長公約により、速やかに実現する。	
<p>《これまでの取組状況》</p> <p>【過去の経緯・取組み状況】</p> <p>＜ 空調設備（エアコン）設置 ＞</p> <p>○平成29年度、空調設備設置済みの平和中学校を除く中学校8校の普通教室等に空調設備（エアコン）を設置するため、設計業務を委託。</p> <p>○平成30年度、中学校8校の普通教室等に空調設備（エアコン）を設置。</p> <p>○平成30年度、小学校23校の普通教室等に空調設備（エアコン）を設置するため、設計業務を委託。</p> <p>○令和元年度、小学校23校の普通教室等に空調設備（エアコン）を設置。</p> <p>○令和元年度、平和中学校の空調設備（エアコン）を更新するため、設計業務を委託。</p> <p>○令和2年度、平和中学校の空調設備（エアコン）を更新</p> <p>○令和2年度、平和中学校を除く中学校8校の音楽室に空調設備（エアコン）を設置。</p> <p>○令和3年度、小学校23校の音楽室に空調設備（エアコン）を設置。</p> <p>○令和4年度、小中学校の配膳室への空調整備のため、受変電設備等の事前調査を実施。中学校については、屋内運動場への空調設備（エアコン）設置のための事前調査も実施。</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	小中学校普通教室等の空調設備（エアコン）設置事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	・将来的な特別教室等への空調設備設置に向け、小中学校の受変電設備の容量調査を実施する。また、併せて配膳室空調設備設置に係る設計を実施する。					
事業計画	・令和4年度 小中学校の受変電設備の容量調査を実施。 配膳室への空調設備設置に係る設計業務委託について、建替え計画のある大里東小学校と、すでに配膳室に空調が整備されている平和中学校を除いた小学校22校、中学校8校で実施。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平和中学校空調設備更新 (繰越明許) 予算金額142,000千円 契約金額133,100,000円 中学校音楽室空調整備(8校) (予算現額) 予算金額43,707千円 契約金額43,706,300円 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校音楽室空調整備(23校) (予算現額) 予算金額100,000千円 契約金額95,524,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校配膳室改修工事(空調設備)実施設計業務委託(22校) 予算金額18,000千円 契約金額11,220,000円 中学校配膳室改修工事(空調設備)実施設計業務委託(8校) 予算金額6,600千円 契約金額5,420,800円 <p>※建替え計画のある大里東小学校及び配膳室空調整備済みの平和中学校を除く</p>			
令和4年度の変更点・改善点	配膳室への空調設置だけでなく、今後、想定されている他の特別教室や中学校の屋内運動場への空調設置を見越して、受変電設備の調査業務を合わせて行った。					

事業名②	長寿命化等の推進	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	・老朽化した学校施設について、屋上防水、外壁修繕、ライフライン設備の改修を中心とした改修を実施することで、学校施設の長寿命化を図る。			
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 千代田小学校長寿命化工事設計業務委託 令和4年度 千代田小学校長寿命化工事 領内小学校、法立小学校長寿命化工事設計業務委託 			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 千代田小学校長寿命化工事 予算金額240,000千円 契約金額234,319,800円 千代田小学校長寿命化工事監理業務委託 予算金額6,000千円 契約金額5,665,000円 領内小学校長寿命化工事設計業務委託 予算金額9,000千円 契約金額7,469,000円 法立小学校長寿命化工事設計業務委託 予算金額9,000千円 契約金額7,117,000円 			
令和4年度の変更点・改善点	発注時期や発注方法を工夫することで、校舎内部に係る工事については夏休み期間中に終わることができ、授業への影響を最小限に抑えることができた。			
事業名③	校舎棟トイレ洋式化事業	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	小中学校の校舎棟トイレについては、平成27年度までに箇所数で約2分の1を洋式トイレに改修済みであるが、未改修のトイレについても洋式化することで、教育環境の改善を図る。			
事業計画	建替え計画のある大里東小学校と、既に洋式化改修が完了している稲沢東小学校、稲沢西小学校、片原一色小学校を除く28校について、令和4年度から順次設計、施工していく。			
実施状況	令和4年度 大里西小学校、六輪小学校、祖父江中学校のトイレ洋式化実施設計を実施 <ul style="list-style-type: none"> 大里西小学校ほか改修工事（校舎棟便所）設計業務委託 予算金額7,000千円 契約金額5,665,000円 祖父江中学校改修工事（校舎棟便所）設計業務委託 予算金額5,000千円 契約金額4,290,000円 			
令和4年度の変更点・改善点	和式より広いトイレブースのスペースが必要な洋式トイレであるが、便器数をできるだけ減らさないよう配慮し、配置計画を行った。			

事業名④	給食施設整備事業	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	・旧稲沢市内の学校調理場14校を集約し、新たに共同調理場を整備する。			
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度：基本設計、令和4年度：実施設計 令和5・6年度：建築工事 令和7年度：2学期から稼働開始予定 			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）井之口調理場新築工事設計業務委託料（継続費設定） 予算金額 53,400,000円 令和3年度 14,400,000円（基本設計） 令和4年度 39,000,000円（実施設計） 契約金額 28,050,000円 令和3年度 7,012,500円（基本設計） 令和4年度 21,037,500円（実施設計） 			
令和4年度の 変更点・改善点	実施設計において、事務所部分に高効率空調や、サッシに複層ガラス等を採用し、エネルギー消費性能（BEI）を向上させた。			

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

- 空調整備については、対象となる学校の配膳室空調及び全中学校の屋内運動場空調の設置のために設計及び調査を終え、令和5年度以降の工事発注に向けた設計を完了した。
- （仮称）井之口調理場新築工事については、令和4年度に計画どおり実施設計を完了した。

《課題および今後の方針》

- 空調設備、長寿命化及びトイレ洋式化等、工事の集中する学校があるが、工事期間中の学校運営に極力支障をきたさない施工方法を計画し、学校と協力して工事を実施する必要がある。
- （仮称）井之口調理場新築工事については、令和5年度より工事が開始される。大型事業であるため、特に工程及び安全管理の徹底が必要となる。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
4	学校給食の充実	庶務課
施策の目標 (基本方針)	児童生徒が望ましい食習慣を身につけることができるよう、食に関する指導の充実を図る。バランスの取れた献立の実施や地場産の導入など、給食内容の充実を図る。給食施設設備の充実を図るとともに、衛生管理の強化に努める。	
《これまでの取組状況》		
<p>○学校給食を通じて、各学年に応じた食の指導を充実するとともに、「給食だより」や「献立表」を配布し、食に関する知識の普及啓発に努めている。</p> <p>○地場産の米・野菜を取り入れた郷土料理を行うなど、地産地消の推進を図っている。</p> <p>○食物アレルギー対策として、加工品等の詳しい配合を記入した資料を提供するとともに、除去食を実施している。</p> <p>○衛生管理に関する意識向上を図るための衛生講習会及び技術の向上を図るための調理講習会を実施している。</p> <p>○国、県からの指導の元に稲沢市学校給食等アレルギー対応検討委員会を開催し、市教育委員会としてアレルギー対応を行っている。</p> <p>○愛知の郷土料理を計画的に取り入れ、郷土愛を高めるとともに、郷土の料理の存続につなげている。</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	献立立案及び調理指導			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	栄養基準量に基づいた献立の立案及び衛生面を考慮した調理作業を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためパンを個包装とした。また、給食開始当初は品数を減らす等配膳に考慮した献立にした。 ・例年夏季休業となる期間の給食は、食中毒予防も考慮し和え物の提供を中止した。 ・オリンピックへの機運を高めるため、世界の料理を多く取り入れた献立を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの機運を高めるため、1学期は世界の料理を多く取り入れた献立を提供した。 ・2学期以降は、愛知県の郷土料理及び日本全土の郷土料理等を紹介、提供した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためパンの個包装を継続した（令和4年2月末まで）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の嗜好や残菜量及び季節感・給食単価等を考慮した献立の工夫 ・新規メニューや児童生徒の考案したメニューの採用、全国の郷土料理など ・衛生マニュアルに沿った調理作業の実施 			
令和4年度の変更点・改善点	物価上昇に伴う食材費の上昇により、9月から給食費を改定（20円値上げ）した。令和4年度は新型コロナウイルス対応臨時交付金を活用して給食費の補助を行った。					
事業名②	児童生徒への食に関する指導			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	食に関する指導を行うことにより、児童生徒一人一人が望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自分の健康管理ができるようにすること、また、楽しい食事や給食活動を通して、豊かな心を育成し、社会性を涵養する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭・学校栄養職員が食に関する指導を実施 家庭科46回、総合的な学習5回、学級活動64回、その他の教科3回、個別指導8回、給食時間の指導609回、その他36回 計771回 ・「食に関する全体計画」作成 地産品を使用した日には、給食だよりや放送資料等で指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭が食に関する指導を実施 家庭科71回、総合的な学習8回、学級活動86回、その他の教科30回、個別指導15回、給食時間の指導676回、その他40回 計926回 ・「食に関する全体計画」作成 地産品を使用した日には、給食だよりや放送資料等で指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭が食に関する指導を実施 家庭科84回、総合的な学習4回、学級活動85回、その他の教科12回、個別指導5回、給食時間の指導459回、その他31回 計680回 ・「食に関する全体計画」作成 地産品を使用した日には、給食だよりや放送資料等で指導を実施 			
令和4年度の変更点・改善点	「食に関する全体計画」を基に指導を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に加え、栄養教諭の減員もあり予定通りに実施できなかった。					

事業名③	啓発事業		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	学校給食を通じて食に関する関心や理解を深めるため、様々な啓発事業を実施する。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食センター・調理場の施設見学実施 <ul style="list-style-type: none"> 祖父江町学校給食センター 牧川小2年 23名 平和町学校給食調理場 法立小2年 32名 計55名 	<ul style="list-style-type: none"> 食育の推進を目的として、2月8日に市内全校で有機バナナを提供した。 学校給食センター・調理場の施設見学実施 <ul style="list-style-type: none"> 祖父江町学校給食センター 牧川小2年 26名 計26名 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の人気レシピをホームページで紹介した。 いなざわふれあい通信で「楽しみいっぱい学校給食」と題して調理工程や児童が食べる様子を放送。 学校給食センター・調理場の施設見学 実施:なし
令和4年度の変更点・改善点	令和4年度は環境負荷を低減して栽培された市内産野菜を給食に提供した。令和4年度から市のホームページを活用し給食のレシピを紹介した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設見学は実施されなかった。		
事業名④	地産地消の推進		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	生産者の顔が見える地場産の米や野菜を取り入れていくことで、地域の食文化への関心を高めるとともに、食に関する指導を充実させる。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	<p>野菜は給食週間等で日にちを決めて、地産品を市内全調理施設で一斉使用。</p> <p>11月30日 :ぎんなんきしめん ももカブ 12月9日 :ももカブ 1月12日 :ももカブの切り干し</p> <p>計3回、3品目</p>	<p>野菜は給食週間等で日にちを決めて、地産品を市内全調理施設で一斉使用。</p> <p>11月30日:ぎんなんきしめん ももカブ 12月17日:ももカブ 1月26日:ももカブの切り干し 1月28日:稲沢の冬野菜スープ(人参、白菜、玉葱、ねぎ)</p>	<p>野菜は給食週間等で日にちを決めて、地産品を市内全調理施設で一斉使用。令和4年度は環境負荷の少ない栽培方法で育てた野菜を使用した。</p> <p>6月17日:みつば 11月16日:ももカブ 11月18日:ぎんなんきしめん 12月9日:ももカブ 11月30日:稲沢高校の薩摩芋 12月16日:エコファーマーの茄子 1月26日:ももカブの切り干し 2月17日:はくさい</p>
令和4年度の変更点・改善点	市内で一斉に使用する地産品を除き、給食で使用する地産品は調理施設毎に調達することとした。		
事業名⑤	食物アレルギーへの対応		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	医師の診断により保護者から依頼があった場合には、資料の提供及び除去食の対応を行う。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 加工品等の資料提供 除去食については、学校生活管理指導表に基づいて保護者と面談を実施したうえで、特定原材料7品目について実施(除去食対応 小学校:165名、中学校:57名、計222名) 稲沢市学校給食等アレルギー対応検討委員会を開催、マニュアルを一部見直した。 	<ul style="list-style-type: none"> 加工品等の資料提供 除去食については、学校生活管理指導表に基づいて保護者と面談を実施したうえで、特定原材料7品目について実施(除去食対応 小学校:189名、中学校:52名、計241名) 稲沢市学校給食等アレルギー対応検討委員会を開催、マニュアルを一部見直した。 	<ul style="list-style-type: none"> 加工品等の資料提供 除去食については、学校生活管理指導表に基づいて保護者と面談を実施したうえで、特定原材料7品目について実施(除去食対応 小学校:191名、中学校:54名、計245名) 稲沢市学校給食等アレルギー対応検討委員会を開催、マニュアルを一部見直した。
令和4年度の変更点・改善点	稲沢市学校給食等アレルギー検討委員会を開催し、令和3年度に改訂した「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を一部改訂し、令和4年10月改訂版として各学校に配付した。		

事業名⑥	食の安全・安心への取組			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	学校給食の安全性を守るために、食材の検査や調査を実施する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・食材検査 単独校11品目 共同調理場28品目 ・食器溶出検査 4品目 年1回 ・調理施設衛生管理検査 単独校1校・共同調理場3施設 ・放射性物質検査 市独自で食材を委託し学期ごとに行う。 ・ノロウイルス高感度検査 給食従事者に10月から3月まで月に1回、計6回行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材検査 単独校9品目 共同調理場27品目 ・食器溶出検査 4品目 年1回 ・調理施設衛生管理検査 単独校1校・共同調理場3施設 ・放射性物質検査 市独自で食材を委託し年1回行う。 ・ノロウイルス高感度検査 給食従事者に10月から3月まで月に1回、計6回行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材検査：単独校8品目 共同調理場27品目 ・食器溶出検査（単独校）4品目・年1回 ・調理施設衛生管理検査 単独校1校・共同調理場3施設 ・ノロウイルス高感度検査 給食従事者に10月から3月まで月に1回、計6回行う。 			
令和4年度の変更点・改善点	令和4年度から放射性物質検査を実施しないこととした。					
事業名⑦	職員研修			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	安全で美味しい給食を実施するため、栄養教諭・学校栄養職員・調理員の技術及び資質の向上を図る。 食に関する指導を充実させるため、栄養教諭・栄養職員の資質の向上を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新献立調理講習会 年3回（書面開催） ・栄養教諭・学校栄養職員自主研修会 年3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・新献立調理講習会 年3回（書面開催） ・県衛生講習会 年1回 ・栄養教諭自主研修会 年3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・新献立調理講習会 年3回（書面開催） ・県衛生講習会 年1回 ・栄養教諭自主研修会 年3回 			
令和4年度の変更点・改善点	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市衛生講習会、新献立調理講習会は書面開催。					

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
<ul style="list-style-type: none"> ○ノロウイルス等食中毒予防を徹底し、安心安全で美味しい給食を提供できた。 ○農薬の使用量を減らす等、環境に配慮して栽培された稲沢市産の作物を稲沢高校や愛知西農業協同組合の協力で学校給食に提供することができた。
《課題および今後の方針》
<ul style="list-style-type: none"> ○地産地消の食材調達について愛知西農業協同組合の協力を得るとともに、生鮮食材納入業者にも協力を得ることにより食材調達を図る必要がある。 ○ごみの減量を目的に給食で発生する廃棄物（牛乳パック）の再資源化に取り組む必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
5	給食のあり方検討	庶務課
施策の目標 (基本方針)	学校給食施設の今後のあり方の検討	
<p>《これまでの取組状況》</p> <p>○稲沢東小学校は平成23年度までに老朽化した屋内運動場、校舎棟の改築が終了した。給食棟は昭和42年建築の古い施設のまま使用していたが、平成27年度に親子方式の稲沢東部学校給食調理場として改築された。</p> <p>○稲沢西小学校は平成25年度から屋内運動場、平成26年度から校舎棟の改築が始まり平成28年度には完了したが、給食については他校または学校給食センターからの搬入として計画されていた。</p> <p>○平和町学校給食センターは昭和48年12月建設で老朽化が進行しており計画的に補修していたが、設備等も含め限界に近づいていたので、平成28年度に平和中学校の敷地内に平和町学校給食調理場として移転改築された。</p> <p>○給食業務における課題について、施設の老朽化に対応するための整備手法、正規調理員の退職不補充による高齢化と減少、これに伴う臨時調理員の増加、また、学校給食費の透明化と教員の多忙化解消を図るための給食費公会計化の推進など、多様な問題を段階的に解決し、安心安全でおいしい給食の提供を継続していくための指針として、令和3年3月に給食基本計画が策定された。</p> <p>○給食基本計画を指針として、給食業務における多様な問題を段階的に解決していくため、老朽化した旧稲沢市内の学校調理場14校を集約し、(仮称)井之口調理場の整備を推進する。また、将来的には4つの給食施設により効率的な給食の提供を可能とすべく、施設整備を推進する。</p> <p>○安心・安全な給食の提供を継続するため、退職不補充による正規調理員の減少を考慮しつつ、民間活力の導入を検討する。</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	給食基本計画の推進			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	給食費の公会計化、調理員退職不補充による正職員の減少、給食施設の老朽化といった多くの課題を体系的に、計画的に解決するため、昨年度策定した「給食基本計画」に基づいた取組を推進する。					
事業計画	(仮称)井之口調理場の整備(R7年度)、単独調理場の学校給食費の公会計化(R4年度)等					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 給食業務における課題を段階的に解決していくため、給食基本計画策定委員会で検討を重ね、市民の幅広い意見を聞くためパブリックコメントを実施し、令和3年3月に給食基本計画を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設の老朽化に対応するため、給食基本計画の取組方針に基づき、(仮称)井之口調理場を整備するため、基本設計業務を委託した。 単独調理場の学校給食費の公会計化に向けた事前調整(事務手続きの整理、学校関係者等との調整、予算計上等)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設の老朽化に対応するため、給食基本計画の取組方針に基づき、(仮称)井之口調理場を整備するための実施設計が完了した。 単独調理場の学校給食費を公会計化した。 			
令和4年度の変更点・改善点	単独調理場の学校給食費を公会計化した。					

■ 教育委員会による評価(自己評価)

《令和4年度の実績・評価》
<p>○給食施設(自校調理場)の老朽化に対応するため、(仮称)井之口調理場の設計業務を実施した。</p> <p>○学校給食費を公会計化したことにより給食会計が明朗となった。</p>
《課題および今後の方針》
<p>○安心・安全な給食の提供を継続するため、退職不補充による正規調理員の減少を考慮しつつ、民間活力の導入を検討する。</p>

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
6	私学振興、補助	庶務課
施策の目標 (基本方針)	教育の機会均等の精神に基づき保護者負担の軽減を図るため、私立学校法人への必要な援助に努める。	
《これまでの取組状況》 ○私学振興補助事業によって、私学経営の安定化を図ることができた。 ○私立高等学校授業料補助事業によって、私立高校に子女を通わせる保護者の負担軽減を図ることができた。 ○教育の機会均等の精神に基づき、これらの事業を今年度も継続していく。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	私学振興補助事業			□新規 □重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民の福祉又は文化向上に資すると認める事業、生徒又は園児の学習活動の充実に資すると認める事業及び生徒、園児等の健康増進に資すると認める事業を補助対象事業とし、私立学校法人に対し助成を行う。 平成24年に稲沢市補助金等検討委員会から出された提言を受け、県内の他市の状況等を参考に、平成30年度、運営費補助から事業費補助に切り替えた。 			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	大学（0校）：0円 短大（1校）：535,000円 高校（1校）：700,000円 幼稚園（5園）：3,107,782円 補助金計：4,342,782円	大学（0校）：0円 短大（1校）：700,000円 高校（1校）：677,515円 幼稚園（5園）：3,129,564円 補助金計：4,507,079円	大学（0校）：0円 短大（1校）：672,527円 高校（1校）：700,000円 幼稚園（4園）：2,800,000円 認定こども園（1園）：459,500円 補助金計：4,632,027円	
令和4年度の変更点・改善点	令和4年度から市内に学校法人が運営する認定こども園が設置されたことに伴い、要綱の一部を改正した。また申請に際して特に疑義がある法人については個別に説明会を実施することで補助内容の適正化を図った。			
事業名②	私立高等学校授業料補助事業			□新規 □重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	公私立学校間における負担の格差是正を図り、教育の機会均等を確保し、また、私立学校教育の振興に寄与するため、私立高等学校の授業料を負担している保護者に対して授業料補助を行う。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	498人に対して3,913,400円を補助	475人に対して3,720,900円を補助	437人に対して4,241,600円を補助	
令和4年度の変更点・改善点	補助金額を県内他市町村の状況も参考に、生活保護世帯等は年額12,000円から13,000円に、その他の世帯は年額8,000円から10,000円に引き上げた。また、授業料補助申請欄について、保護者側の申請負担が軽減されるように記載内容の見直しを行った。			

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》 ○私学振興補助事業については、個別に説明会を実施するなど適正化を図ることができた。 ○私立高等学校授業料補助事業については、令和4年度から補助金額を見直したことにより、物価高により家計支出が増している保護者の支援強化につながった。
《課題および今後の方針》 ○私学振興補助事業については、引き続き対象法人への丁寧な説明に努め、補助事業の適正化を図っていく。 ○私立高等学校授業料補助事業については、補助金額を見直したところであり、当面は現在の補助金額を維持していく。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
7	奨学金交付事業	庶務課
施策の目標 (基本方針)	勉学の意欲があり、修学のための経済的支援が必要と認められる本市中学校卒業生が、高等学校等在学中期間に返済の必要がない奨学金を支給する。	
《これまでの取組状況》 ○義務教育以降の修学については、私立高等学校授業料補助事業で一部授業料補助を行っている。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	稲沢市久納奨学基金奨学金			□新規 □重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	<p>1 募集人数 20人以内(年度)</p> <p>2 奨学金の額 1人月額10,000円</p> <p>3 支給期間 正規の修業期間中とする。ただし、3年間を限度とする。</p> <p>4 応募資格 次の項目すべてに該当すること。</p> <p>(1) 市内に住所を有すること。</p> <p>(2) 勉学意欲があり、かつ、品行方正であること。</p> <p>(3) 経済的理由により修学が困難であること。</p> <p>(4) 本市立中学校を卒業し、高等学校等就学支援金の支給対象となる高等学校等に入学する方で、出身中学校長の推薦があった方</p> <p>※成績は中学校3年間の平均が5段階評価で3.0以上、家庭の所得状況が募集要項に示す基準を満たすこと。</p>			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	平成30年度奨学生(平成29年度卒業生)10人:1,200,000円支給 令和元年度奨学生(平成30年度卒業生)20人:2,370,000円支給 ※1名については出国による退学のため12月までの支給 令和2年度奨学生(令和元年度卒業生)20人:2,400,000円支給 計 5,970,000円支給	令和元年度奨学生(平成30年度卒業生)19人:2,280,000円支給 令和2年度奨学生(令和元年度卒業生)20人:2,400,000円支給 ※1名については市外転出のため3月まで支給 令和3年度奨学生(令和2年度卒業生)12人:1,440,000円支給 計 6,120,000円支給	令和2年度奨学生(令和元年度卒業生)19人:2,280,000円支給 令和3年度奨学生(令和2年度卒業生)12人:1,440,000円支給 令和4年度奨学生(令和3年度卒業生)18人:2,070,000円支給 ※1名は市外転出のため8月まで支給。1名は休学のため1月まで支給。 計 5,790,000円支給	
令和4年度の変更点・改善点	2月中旬に各中学校に令和5年度新規申請状況を確認し、申請漏れがないか確認に努めた。			

■ 教育委員会による評価(自己評価)

《令和4年度の実績・評価》 ○申請締切前に各学校の進路指導担当に連絡し、申請漏れがないか再度の確認を依頼した成果もあり、令和4年度奨学生(令和3年度中学校卒業生)は18人と、前年度の12人から大幅な増となった。
《課題および今後の方針》 ○奨学金申請の対象となる中学3年生の進路指導時に的確に奨学金制度の周知が可能となるよう、令和5年度から学校教育課所管事業に変更となった。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
8	就学の援助	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	教育の機会均等の精神に基づき、経済的理由によって就学が困難な家庭については、保護者負担の軽減を図るため、必要な援助に努める。	
《これまでの取組状況》 ○経済的理由によって就学が困難な家庭については、就学援助費事業で保護者負担の軽減を図ってきた。 ○特別支援教育就学奨励費事業によって、特別支援教育の推進、また、療養費等の支出がある障害のある子どもたちの保護者に対する援助を図ることができた。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	就学援助費事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者（主に母子家庭や低所得者の世帯を対象）に、国の基準に基づき、学用品費・給食費等を援助をすることで、義務教育の円滑な運営を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	認定者数・・・917人 支給額・・・56,417,218円 (※所得基準による認定 86人)	認定者数・・・909人 支給額・・・75,448,745円 (※所得基準による新規認定 65人)	認定者数・・・853人 支給額・・・57,425,872円 (※所得基準による新規認定 69人)			
令和4年度の変更点・改善点	オンライン学習通信費を援助開始。新入学用品費（小学校）の補助額を増額。					
事業名②	特別支援教育就学奨励費事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者が負担する費用の一部を、経済状況に応じて補助するもの。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	認定者数・・・172人 支給額・・・5,430,978円	認定者数・・・173人 支給額・・・6,730,155円	認定者数・・・184人 支給額・・・5,343,290円			
令和4年度の変更点・改善点	オンライン学習通信費を援助開始。					

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
令和4年度からオンライン学習通信費を援助の対象に加えた。
《課題および今後の方針》
認定作業の複雑化への対応や支払作業の効率化を実現するため、システム導入の検討をする必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
9	外国人児童生徒（及びその保護者）の教育支援	学校教育課
施策の目標 （基本方針）	外国人児童生徒（及びその保護者）の教育支援	
《これまでの取組状況》		
<p>○ポルトガル語等語学相談員2人を対象校に派遣し、授業における基礎的な日本語指導、日本語適応支援教室における教師の語学指導の補助、児童生徒・保護者を対象に学校生活に関する相談活動等を行ってきた。</p> <p>○外国人児童生徒が増える中で、日本語教育推進委員会（事務局は高御堂小学校）に委託し、教職員の指導力向上のために、授業研究等を行ってきた。</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	ポルトガル語等の語学指導助手派遣事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	日本語が理解できない外国人児童・生徒の在籍校に対して、ポルトガル語・タガログ語の語学指導助手（1名ずつ）を派遣する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	授業における基礎的な日本語指導、日本語適応支援教室における教師の語学指導の補助、児童生徒・保護者を対象に学校生活に関する相談活動等を行った。（相談者数159人）	授業における基礎的な日本語指導、日本語適応支援教室における教師の語学指導の補助、児童生徒・保護者を対象に学校生活に関する相談活動等を行った。（相談者数171人）	授業における基礎的な日本語指導、日本語適応支援教室における教師の語学指導の補助、児童生徒・保護者を対象に学校生活に関する相談活動等を行った。（相談者数166人）			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	外国人児童生徒に対する日本語教育推進事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	外国人児童生徒の教育に関する研修、外国人児童生徒の保護者を対象とした相談会を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	日本語教育推進委員会（事務局は高御堂小学校）に委託し、教職員の指導力向上のため、授業研究等を行った。教育相談については、語学指導助手を交え、必要に応じて各学校で行った。	日本語教育推進委員会（事務局は高御堂小学校）に委託し、教職員の指導力向上のため、授業研究等を行った。教育相談については、語学指導助手を交え、必要に応じて各学校で行った。	日本語教育推進委員会（事務局は高御堂小学校）に委託し、教職員の指導力向上のため、授業研究等を行った。教育相談については、語学指導助手を交え、必要に応じて各学校で行った。			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
「外国人児童生徒に対する日本語教育推進事業」では、年3回の研修会を行い、広く日本語教育への理解を深めるとともに、今後も増加することが予想される外国人児童生徒の受け入れのための体制作りを進めた。また、中学校へ進学した対象生徒を日本語適応教室担当教員が訪問し、中学への適応について確認した。
《課題および今後の方針》
ポルトガル語、タガログ語への支援が必要な児童生徒が外国人児童生徒の80%超おり、引き続き語学指導助手を配置することで、日本語指導の充実を図る。なおポルトガル語の対象児童生徒については、毎年95人を超えている状況であり、拡充が必要である。また、中国語、スペイン語など他の言語を母語とする児童生徒も増加しており、多様な言語への対応が課題となっているため、初期指導のための仕組みづくりが必要である。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
10	特別支援教育の推進	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	特別支援教育の推進、また、発達障害のある児童生徒への学習支援など、きめ細かい教育的な対応を行う。	
《これまでの取組状況》 ○主に通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒の食事や教室移動の補助、安全確保、学習支援といった学校における日常生活上の支援等を行う支援員を配置してきた。 ○障害のある就学児童を主な対象に、教育相談等を実施し、児童の適切な就学指導（特別支援学校または特別支援学級、通常の学級）を行ってきた。 ○特別支援教育推進委員会を組織し、調査研究を行い、指導方法とその教育効果の向上を図ってきた。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	特別支援教育支援員の配置			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	主に通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒の食事や教室移動の補助、安全確保、学習支援といった学校における日常生活上の支援等を行う支援員を配置する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	支援員79人（全小中学校に配置）	支援員79人（全小中学校に配置）	支援員79人（全小中学校に配置）			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	就学指導補助事業及び特別支援教育の推進			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	特別支援教育に関する事例研究や情報交換を行い、児童生徒の適切な教育支援を実施する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	障害のある就学児童を主な対象に、教育相談（2回）や稲沢市教育支援委員会（1回）を開催し、児童生徒の適切な教育支援（特別支援学校、特別支援学級、通常の学級、通級指導教室等の相談）を行った。特別支援教育推進委員会を開催し、特別支援教育や教育支援のあり方について検討を行った。	障害のある就学児童を主な対象に、教育相談（2回）や稲沢市教育支援委員会（1回）を開催し、児童生徒の適切な教育支援（特別支援学校、特別支援学級、通常の学級、通級指導教室等の相談）を行った。特別支援教育推進委員会を開催し、特別支援教育や教育支援のあり方について検討を行った。	障害のある就学児童を主な対象に、教育相談（2回）や稲沢市教育支援委員会（3回）を開催し、児童生徒の適切な教育支援（特別支援学校、特別支援学級、通常の学級、通級指導教室等の相談）を行った。特別支援教育推進委員会を開催し、特別支援教育や教育支援のあり方について検討を行った。			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の配置による効果により、発達障害の可能性のある児童生徒への手厚い教育的支援を行うことができた。今後も、通常の学級に在籍している特別な支援が必要な児童生徒の増加に伴って配置していくことが重要である。 ・市の教育支援委員会までの相談活動や準備が計画的に進められ、教員、保護者、医療機関ともに特別支援教育に対する理解が深まりつつあり、就学に関して十分に検討し、保護者との合意のもと判断されるようになってきている。
《課題および今後の方針》
通常の学級に在籍する発達障害及びその可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒の割合は、増加しており、学校現場からは更なる特別支援教育支援員の配置増が求められている。教育支援委員会のための資料を作成するにあたって、WISC等の検査体制が不十分な状況である。検査キットの購入や人員の配置、研修機会の確保、子どもたちのアセスメントと対応のための仕組みづくりを検討したい。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
11	いじめ・不登校などへの対応	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	引きこもり・不登校児童生徒に対する支援活動を行い、いじめ・不登校の対策について研修を行う。	
《これまでの取組状況》 ○いじめ・不登校対策委員会を設置し、いじめ・不登校対策の研修活動や、市内の全家庭・地域に対する啓発活動等を行っている。 ○適応支援教室「明日花」やホームフレンド事業など、引きこもり・不登校児童生徒への実際的な支援も行っている。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	いじめ・不登校対策推進事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	いじめ、不登校対策の全体計画とその実施に関するより専門な提案と助言を求めため、いじめ・不登校対策委員会を設置している。その委員会で、いじめ、不登校への対策等の研修活動を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	心の教室相談員を中学校2校に配置し相談体制を強化するとともに、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うため、社会福祉士等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを1名増員し、2名配置した。また、いじめ・不登校対策委員会及び部会（いじめ部会・不登校部会）を定期的に開催した。	心の教室相談員を中学校2校に配置し相談体制を強化するとともに、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うため、社会福祉士等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを引き続き2名配置した。また、いじめ・不登校対策委員会及び部会（いじめ部会・不登校部会）を定期的に開催した。	心の教室相談員を中学校2校に配置し相談体制を強化するとともに、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うため、社会福祉士等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを引き続き2名配置した。また、いじめ・不登校対策委員会及び部会（いじめ部会・不登校部会）を定期的に開催した。			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	適応支援教室（明日花）事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	稲沢市中学校セミナーハウス等を利用して、適応支援教室「明日花」を開設する。開設時間は、午前10時から午後2時まで児童・生徒の生活面・学習面を指導する。指導員及び指導補助員を雇用し、学校復帰や進路の実現に向けた支援を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	適応支援教室「明日花」「明日花（東分室）」にて、指導員2人・指導補助員2人を雇用し、適応指導、学習指導、体験活動等を行った。（利用者数49人）	適応支援教室「明日花」「明日花（東分室）」にて、指導員2人・指導補助員2人を雇用し、適応指導、学習指導、体験活動等を行った。（利用者数35人）	適応支援教室「明日花」「明日花（東分室）」にて、指導員2人・指導補助員2人を雇用し、適応指導、学習指導、体験活動等を行った。（利用者数42人）			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》 いじめ・不登校対策委員会において、夏季・秋季の2回、研修会を開催し、各学校におけるいじめ・不登校対策の推進に効果的であった。適応支援教室「明日花」「明日花（東分室）」における適応支援やホームフレンド事業などの相談活動、さらにはスクールソーシャルワーカーの介入により、不登校児童生徒、そして不登校傾向のある児童生徒に対して支援することができた。
《課題および今後の方針》 市内の不登校児童生徒数は増加している。不登校の要因は多様化しており、個に応じた支援や教師側の専門的な知識・技能の習得がより一層求められている。今後もそれぞれの相談活動等の充実はもちろんのこと、適応支援教室、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、ホームフレンドや心の教室相談員と学校がさらに連携し、個々の児童生徒が抱える問題の把握や支援に努めていく必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
12	国際理解教育の推進	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	児童生徒に生きた英語を身につけさせ、また、外国の文化・生活習慣を理解させて国際理解を深めることで、国際感覚をもつ心豊かな生徒の育成を図る。	
《これまでの取組状況》		
<p>○毎年8月の10日間、将来の郷土を担う中学生を海外（カナダ）に派遣しホームステイ等をする事業を実施。児童生徒らの国際理解を深め、国際感覚をもつ心豊かな生徒の育成を図ってきた。</p> <p>○生きた英語や海外の文化を親しみやすく生徒に教えることを目的に、外国人語学指導助手（ALT）を各小中学校へ派遣する事業を実施してきた。</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	中学生海外派遣事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	生徒が海外の一般家庭にホームステイし、生活をともにしながら外国の文化・習慣に触れ、国際人としての自覚を高める機会をもたせる。対象は市内中学校に在学する3年生。派遣人数は各校4人。派遣先はカナダのバンクーバー。派遣期間は8月の10日間。参加者への補助額は1人につき経費の2分の1（限度額は20万円）。実行委員会に補助金を支出し、運営を委託。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大を受け事業中止	新型コロナウイルス感染症拡大を受け事業中止	新型コロナウイルス感染症拡大を受け事業中止			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	ALT（語学指導助手）配置委託事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	外国人の語学指導助手を小中学校に配置し、生きた英語や海外の文化を親しみやすく児童生徒に教える。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	民間業者と委託契約を締結し、7人のALTを主に小学校に配置した。	民間業者と委託契約を締結し、7人のALTを主に小学校に配置した。	民間業者と委託契約を締結し、7人のALTを主に小学校に配置した。			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名③	小学校における外国語活動等国際理解活動推進事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	小学生から異文化に関心を持ち、積極的に外国人とコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を図るため、ALTや地域の人材を効果的に活用した小学生の外国語活動のあり方を研究する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	教科化された外国語や外国語活動に係るカリキュラム内容の検討、指導案の作成、授業研究等を行った。事務局は大里東小学校。	教科化された外国語や外国語活動に係るカリキュラム内容の検討、指導案の作成、授業研究等を行った。事務局は丸甲小学校。	教科化された外国語や外国語活動に係るカリキュラム内容の検討、指導案の作成、授業研究等を行った。事務局は大里西小学校。			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

小学校へのALTの配置により、生きた英語や外国の文化をより親しみやすく児童に指導することができた。

《課題および今後の方針》

令和2年度からの小学校5・6年生における小学校英語の教科化や平成30年度からの小学校3・4年生における外国語活動の実施に伴い、小学校でのALTの活用や英語の専科教員の配置等さらに研究を深めていく必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
13	教育の情報化推進	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	各教室でPCが活用できる環境を整備する。また、タブレットPCを児童生徒1人に1台を配備して次代を担う児童生徒の情報活用能力向上を目指す。また、教職員にも1人1台PCを配備し、事務の効率化を目指す。	
《これまでの取組状況》 ○稲沢市では、職員室における教職員用PCを始め、コンピュータ教室、普通教室等にPCおよび周辺機器を整備し、5～6年ごとに更新している。 ○令和元年12月13日に閣議決定された「GIGAスクール構想」は、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するものであり、稲沢市では国の方針に従い、令和2年度末までに市内小中学校全児童生徒等に1人1台のタブレットPCとして計11,358台を整備した。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	学校コンピュータ整備事業		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	これまで小中学校に整備してきた教育用PC及び校務用PC等を更新していく。また、「GIGAスクール構想」による1人1台タブレットPCや関連機器を導入し、個別最適な学びを実現するための環境を整備する。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	児童生徒・教職員用PCの入れ替え対象機器なし。 GIGAスクール構想によりタブレットPCを児童生徒1人1台配備（小学校7,625台 中学校3,733台）	タブレットPCを学校の臨時休業等の緊急時や今後日常的に家庭へ持ち帰り学習に活用していくため、以下の準備を進めた。 ・Wi-Fi環境が整っていない家庭へ貸し出すためのモバイルWi-Fiルーター整備 ・タブレットPCを家庭へ持ち帰る際に有害なWEBサイト等を閲覧できなくするためフィルタリングソフトを導入 ・オンライン授業を実施するため必要となるWEBカメラやマイク等の整備	令和4年度PC機器更新（R5.3.1～R10.2.29 リース） 普通教室児童生徒用PC 小学校232台 中学校97台 プロジェクタ（電子黒板機能付） 小学校60台 中学校22台 イーサネットスイッチ 小学校46台 中学校18台 デジタルカメラ 小学校23台 中学校9台 カラープリンタ 小学校18台 中学校7台 カラー複合機 小学校5台 中学校9台
令和4年度の変更点・改善点	令和4年度に導入したカラープリンタ及びカラー複合機から、保守、修繕等の維持管理及びインク等の消耗品（用紙を除く）の供給を含むサブスクリプション型の契約とした。		
事業名②	情報教育推進事業		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	情報教育推進委員会に委託し、タブレットPCをはじめとするICT機器の利活用やネットワーク管理運用規定の整備・運用など、教職員のICT機器に関する力量向上を目指した研修を行う。また、GIGAスクール構想推進委員会と連携し、タブレットPCの活用方法等を検討する。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	情報教育推進委員会を年4回開催し、プログラミングソフトやデジタル教材の効果的・有効的な活用など、教職員のコンピュータに関する力量向上を目指した活動を実施。 GIGAスクール構想推進委員会を年3回開催し、令和3年度から利用されるタブレットPCの活用方法等を検討した。	情報教育推進委員会を年4回開催し、GIGAスクール構想の実現に向け、4月から導入されたタブレットPCの効果的・有効的な活用など、教職員の力量向上を目指した活動を実施。また、GIGAスクール構想推進委員会と連携し、タブレットPCの家庭への持ち帰りに向けて、約束事や情報モラル指導等を検討した。	情報教育推進委員会を年4回開催し、GIGAスクール構想の実現に向け、タブレットPCの効果的・有効的な活用など、教職員の力量向上を目指した活動を実施。また、校長会等と連携し、市内教職員の情報共有のための仕組みづくりやタブレットPCの家庭への持ち帰りやオンライン授業に必要な実施手順を作成した。
令和4年度の変更点・改善点			

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

各学校の情報セキュリティポリシー実施手順書を作成した。各学校のネットワーク環境、ICTの環境整備の状況を調査し、必要な整備を進めてきたため、学校現場でタブレットPCがスムーズに活用できるようになってきた。

《課題および今後の方針》

タブレットPCでは、様々なアプリケーションがバラバラにインストールされており、それぞれサインインする必要がある。学習eポータルを導入など、より使いやすい環境を整える必要がある。
PC教室・図書室の古いPC等の撤去及び、再整備の計画の策定。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
14	「生きる力」を育むための各種教育活動への支援	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	学習指導要領による「生きる力」を育むため、学校の特色を生かした教育活動に取り組んでいるが、その支援を行う	
《これまでの取組状況》 ○現学習指導要領による総合的な学習の実践、福祉実践教室や生徒指導対策、少人数指導の実践など、小中学校ごとの特色を生かしたきめ細かな教育が求められるため、委託金・補助金あるいは会計年度任用職員雇用等で各校の活動を支援してきた。 ○教材・理科備品及び図書購入など教育に関する必要な備品については各学校の要望を聞きながら整備を進めてきた。		

■ 令和4年度の実施状況

事業名①	特色ある教育活動推進事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	特色ある学校づくりの計画・推進を、各学校に委託。具体的には、児童生徒の「生きる力」を育むため「総合的な学習の時間」（国際理解教育・環境教育・情報教育・地域理解教育等様々なテーマのもとに）等の充実を図り、各校の特色を生かした教育活動を推進する。また、学校運営協議会などの地域の声を反映した様々な活動を推進する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	各学校からの事業計画書等を取りまとめ、児童数・学級数・事業内容に応じ委託金を配分し、全小中学校で事業を実施。 委託料 15,810,000円	各学校からの事業計画書等を取りまとめ、児童数・学級数・事業内容に応じ委託金を配分し、全小中学校で事業を実施。 委託料 15,085,000円	各学校からの事業計画書等を取りまとめ、児童数・学級数・事業内容に応じ委託金を配分し、全小中学校で事業を実施。 委託料 15,085,000円			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	ふるさと新発見学習推進事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	市の特性について生徒自らが学び考える身近な地域の調査学習を通して、稲沢市への愛着と誇りを培い、これからの稲沢を担う人づくりにつなげることを目的として事業を推進する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	中学2年生の社会科「身近な地域の調査」学習において、「自然・環境」「文化・伝統」「生活・都市」といった稲沢市に密着したテーマを生徒自身が選択し、自ら学び考える学習を支援するとともに、各中学校の優秀生徒の学習成果の発表会を開催した。 委託料 400,000円	中学2年生の社会科「身近な地域の調査」学習において、「自然・環境」「文化・伝統」「生活・都市」といった稲沢市に密着したテーマを生徒自身が選択し、自ら学び考える学習を支援するとともに、各中学校の優秀生徒の学習成果の発表会を開催した。 委託料 400,000円	中学2年生の社会科「身近な地域の調査」学習において、「自然・環境」「文化・伝統」「生活・都市」といった稲沢市に密着したテーマを生徒自身が選択し、自ら学び考える学習を支援するとともに、各中学校の優秀生徒の学習成果の発表会を開催した。 委託料 400,000円			
令和4年度の変更点・改善点						

事業名③	少人数指導等推進事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	1クラスの人数が多い（定員の40人に近い）小学校へ配置。一つの学級を複数に分けて少人数指導を行う。算数を中心にした基礎・基本の充実と確かな学力の定着、個々に応じた指導の充実を図る。また、全小学校で低学年児童の下校時の安全確保と学習活動の充実を図り、常に一斉下校できるよう、セーフティ・プラスワン事業を展開する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	少人数指導等非常勤講師52人（少人数指導等非常勤講師8人、セーフティ・プラスワン事業非常勤講師25人、小学校英語非常勤講師19人）を採用し、算数を中心に少人数指導を行い、確かな学力の定着、個々に応じた指導の充実を図った。また、下校時の安全対策に特化した一斉下校を全小学校で実施するとともに、小学校5・6年生を対象に英語免許を保有する教員等による授業を実施した。	少人数指導等非常勤講師57人（少人数指導等非常勤講師11人、セーフティ・プラスワン事業非常勤講師25人、小学校英語非常勤講師21人）を採用し、算数を中心に少人数指導を行い、確かな学力の定着、個々に応じた指導の充実を図った。また、下校時の安全対策に特化した一斉下校を全小学校で実施するとともに、小学校5・6年生を対象に英語免許を保有する教員等による授業を実施した。	少人数指導等非常勤講師54人（少人数指導等非常勤講師9人、セーフティ・プラスワン事業非常勤講師25人、小学校英語非常勤講師20人）を採用し、算数を中心に少人数指導を行い、確かな学力の定着、個々に応じた指導の充実を図った。また、下校時の安全対策に特化した一斉下校を全小学校で実施するとともに、小学校5・6年生を対象に英語免許を保有する教員等による授業を実施した。			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名④	教材備品購入事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	小中学校の授業で利用する掛図や映像教材等の教材や、家電や楽器・スポーツ備品等の教材備品を購入する。各学校から提出された要望書を基にヒアリングを行い、全校分を教育委員会が一括購入する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	決算額 小学校…6,499,740円 中学校…5,399,928円 不足している教材備品の購入及び老朽化した教材備品の買替えを実施。	決算額 小学校…4,811,215円 中学校…3,823,905円 不足している教材備品の購入及び老朽化した教材備品の買替えを実施。	決算額 小学校…4,874,459円 中学校…4,093,351円 不足している教材備品の購入及び老朽化した教材備品の買替えを実施。			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
少人数指導等推進事業については、市単独非常勤講師を配置することにより、配置校の学習指導の充実を図ることができた。また、セーフティ・プラスワン事業においては、実施校での学習活動（体験的な活動、情動的な活動、学習補充等）の充実をに努めるとともに、低学年児童の下校時の安全確保を図ることができた。
《課題および今後の方針》
今後小学校にて専科教員を配置する流れが示される中、少人数指導の人員を再検討する必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
15	教職員研修の推進	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	教職員は、学校教育の目標と学習指導要領の趣旨を理解し、その使命と責任を自覚することが重要であるので、常に研修に努め教育の理想を求める。	
《これまでの取組状況》 ○教職員の各種組織あるいは各学校に補助金を交付し、積極的な研修の計画・実行を促すことにより、現職教育の充実を図り、教職員の資質向上を図ってきた。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	現職教育研修費補助事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	教職員の各種組織において積極的に研修を計画し、実行することにより現職教育の充実を図り、教職員の資質向上を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	各種団体（校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会、校務主任研修会、養護教諭研修会、保健主事研修会、栄養教諭研修会、県事務研修会、生徒指導担当者研修会）の代表校及び各学校へ補助金を交付することにより、各種研修を計画的に実施。 委託料 1,190,361円 補助金 1,438,000円	各種団体（校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会、校務主任研修会、養護教諭研修会、保健主事研修会、栄養教諭研修会、県事務研修会、生徒指導担当者研修会）の代表校及び各学校へ補助金を交付することにより、各種研修を計画的に実施。 委託料 1,230,423円 補助金 1,436,000円	各種団体（校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会、校務主任研修会、養護教諭研修会、保健主事研修会、栄養教諭研修会、県事務研修会、生徒指導担当者研修会）の代表校及び各学校へ補助金を交付することにより、各種研修を計画的に実施。 委託料 1,534,290円 補助金 1,436,000円			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	教科等研究事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	小中学校の各教科等(各教科、道徳、特別活動、特別支援教育、生徒指導及び進路指導)における実践的研究を行い、研究の成果を市内小・中学校及び各教育団体等に広く提供し、当市の教育の向上を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	稲沢市教育研究会に委託金を交付。各教科・領域ごとに研究部をおき、授業研究及び研究発表・研究協議を計画し、教職員相互の力量向上に努める。 委託料 140,000円	稲沢市教育研究会に委託金を交付。各教科・領域ごとに研究部をおき、授業研究及び研究発表・研究協議を計画し、教職員相互の力量向上に努める。 委託料 550,000円	稲沢市教育研究会に委託金を交付。各教科・領域ごとに研究部をおき、授業研究及び研究発表・研究協議を計画し、教職員相互の力量向上に努める。 委託料 550,000円			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名③	教育課程編成事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	学習指導要領に基づき稲沢市の小中学校の教育課程を編成する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	稲沢市小中学校教育課程編成委員会に委託金を交付。小中学校の教育課程編成・指導事例作成事業及びそのための調査及び研究に関する活動に努める。 委託料 250,000円	稲沢市小中学校教育課程編成委員会に委託金を交付。小中学校の教育課程編成・指導事例作成事業及びそのための調査及び研究に関する活動に努める。 委託料 150,000円	稲沢市小中学校教育課程編成委員会に委託金を交付。小中学校の教育課程編成・指導事例作成事業及びそのための調査及び研究に関する活動に努める。 委託料 150,000円			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

教職員の各種組織に委託金・補助金を交付し、研修などで現職教育の充実を図るとともに、教職員の資質向上を図ることができた。

《課題および今後の方針》

タブレットPCの導入により教員のICT活用指導力の向上など、教職員に求められる資質・専門性も高度になっているため、研修の質を高めていく必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
16	学校安全・学校保健の推進	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	児童生徒ならびに教職員の健康の保持増進を図り、学校における保健管理及び安全管理を推進する。	
《これまでの取組状況》 ○学校保健法等に基づき教職員・児童生徒の健康診断等を行い、児童生徒ならびに教職員の健康の保持増進を図ってきた。 ○独立行政法人スポーツ振興センターへの加入や緊急時のタクシー利用の補助で、校内で怪我等をした児童生徒及びその保護者への支援を行ってきた。また、学校環境衛生検査を行い、学校環境の実態を把握してきた。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	教職員、児童生徒の健康診断事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	学校保健安全法に基づき、教職員及び児童生徒の健康診断を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	教職員752人受診 検査項目、胸部X線、尿検査、血圧、血液(肝機能)、心電図、医師の診察、腹囲、大腸がん検査、胃部X線、(直接撮影)	教職員760人受診 検査項目、胸部X線、尿検査、血圧、血液(肝機能)、心電図、医師の診察、腹囲、大腸がん検査、胃部X線、(直接撮影)	教職員759人受診 検査項目、胸部X線、尿検査、血圧、血液(肝機能)、心電図、医師の診察、腹囲、大腸がん検査、胃部X線、(直接撮影)			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	学校環境衛生管理事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	毎年時期を定めて、客観的、科学的に学校環境の実態を把握し、その結果、基準に示された環境を維持し、また、必要があれば適切な改善を行う等の事後措置を講じる定期環境衛生検査を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	「学校環境衛生の基準」に基づき、各学校の学校薬剤師が定期的に検査を実施(検査項目は照度及び照明環境、騒音環境、給食食器の残留澱粉・脂肪・大腸菌、調理室の衛生管理状況、教室等の空気、水質基準、ダニ検査)。	「学校環境衛生の基準」に基づき、各学校の学校薬剤師が定期的に検査を実施(検査項目は照度及び照明環境、騒音環境、給食食器の残留澱粉・脂肪・大腸菌、調理室の衛生管理状況、教室等の空気、水質基準、ダニ検査)。その他、プールの水質検査(トリハロメタン)も行った。	「学校環境衛生の基準」に基づき、各学校の学校薬剤師が定期的に検査を実施(検査項目は照度及び照明環境、騒音環境、給食食器の残留澱粉・脂肪・大腸菌、調理室の衛生管理状況、教室等の空気、水質基準、ダニ検査)。その他、プールの水質検査(トリハロメタン)も行った。			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名③	独立行政法人日本スポーツ振興センターへの加入			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	学校の管理下における児童生徒等の災害(負傷、疾病、障害又は死亡)に対して、災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を行う独立行政法人日本スポーツ振興センターへ加入契約を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	5月に加入手続きを行う(掛金10,081,610円)。医療費・障害見舞金の支給額1,531,928円	5月に加入手続きを行う(掛金10,026,280円)。医療費・障害見舞金の支給額1,852,823円	5月に加入手続きを行う(掛金9,935,255円)。医療費・障害見舞金の支給額3,464,191円			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

コロナ禍にあったが健康診断においても感染拡大防止策を講じながら実施できた。

《課題および今後の方針》

新型コロナウイルス感染症は5類に移行されたものの、最新の動向に注意しながら対応していく必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
17	教員の多忙化解消の推進	学校教育課
施策の目標 (基本方針)	教員が一人一人の子どもに丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた指導を実現していくため、教員の多忙化解消を推進する。	
《これまでの取組状況》 ○夏季休業中における学校閉校日の設定(平成22年度試行、平成23年度全校実施) ○学校事務の共同実施による県事務職員の学校事務の平準化・標準化、教員の事務負担の軽減(平成27年度～) ○校務支援システム導入(平成28年10月～)による業務の効率化		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	夏季休業中における学校閉校日の設定			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	学校の長期休業期間中における教職員を対象とした会議、行事等の実施時期を調整するとともに、その精選を促すことにより、家族休暇(夏季)等の使用促進を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	8月10日(月)～8月16日(日)実施	8月10日(火)～8月16日(月)実施	8月10日(水)～8月16日(火)実施			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名②	学校事務の共同実施			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	地域の実情に応じた小中学校で構成する共同実施ブロックのリーダーが、ブロック内の事務を総括するとともに、効率的かつ適正に処理するよう事務職員の分掌すべき事務を割り振り、事務の繁閑を平準化し、効率的な業務運営を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	5つのブロックで構成 庶務、人事、経理、管財を所掌	5つのブロックで構成 庶務、人事、経理、管財を所掌	5つのブロックで構成 庶務、人事、経理、管財を所掌			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名③	校務支援システムの活用			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	校務情報を一元的に管理・運用することにより、教職員の業務を効率化し、教職員が児童生徒と向き合う時間を拡充することで教育の質の向上を図る。 平成28年度 校務支援システム新規導入 令和元年度 通知表作成支援システムを追加 令和2年度 出退勤管理システムを追加 令和3年度 すべての機能を維持しつつリプレイス実施					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	帳票項目:出席簿、指導要録、調査書、通知表、出勤簿 借上料 17,714,556円	帳票項目:出席簿、指導要録、調査書、通知表、出勤簿 借上料 18,291,012円	帳票項目:出席簿、指導要録、調査書、通知表、出勤簿 借上料 18,527,520円			
令和4年度の変更点・改善点						

事業名④	スクール・サポート・スタッフの配置			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	小中学校において教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に専念できる体制を確保することを目的に、スクール・サポート・スタッフを配置し教員の業務支援を図る。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	-	大規模校8校に各1名配置 (稲沢東小学校、稲沢西小学校、大里東小学校、下津小学校、小正小学校、治郎丸中学校、稲沢西中学校、祖父江中学校)	大規模校16校に各1名配置 (令和3年度配置校及び、千代田小学校、大里西小学校、大塚小学校、稲沢北小学校、稲沢中学校、大里中学校、大里東中学校、平和中学校)	
令和4年度の変更点・改善点				

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
スクール・サポート・スタッフを拡充したことにより、「児童生徒と関わる時間や教材研究に専念できる時間が増え、大変助かっている。」との声が配置校から届いており、効果を実感している。
《課題および今後の方針》
校務支援システムに関しては、学校現場から要望がある機能の追加について検討し、導入していきたい。また、スクール・サポート・スタッフの効果的な活用について、配置校間で情報交換し、さらなる拡充を検討する。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
18	生涯学習の推進	生涯学習課
施策の目標 (基本方針)	平成30年度に策定した生涯学習推進計画を推進し、生涯を通じて学習できるまちを目指す。	
《これまでの取組状況》		
○平成29年12月に次期計画策定に向けたアンケート調査を市民2,500人を対象に実施し、集計結果の分析を行った。		
○平成30年度は次期生涯学習推進計画策定に向けて、検討委員会を含め6回会議を開催し、平成31年3月に「2019稲沢市生涯学習推進計画」を策定した。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	生涯学習推進計画の推進			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	生涯学習推進計画の進行状況を把握し、生涯学習の推進を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	平成31年3月に策定した「2019稲沢市生涯学習推進計画」推進のための取組み等について協議 生涯学習推進会議 第1回 6月30日 第2回 2月26日 検討委員会 第1回 9月4日 第2回 12月21日	平成31年3月に策定した「2019稲沢市生涯学習推進計画」推進のための取組み等について協議 生涯学習推進会議 第1回 7月2日 第2回 3月1日	平成31年3月に策定した「2019稲沢市生涯学習推進計画」推進のための取組み等について協議 生涯学習推進会議 第1回 5月31日 検討委員会 第1回 9月16日			
令和4年度の変更点・改善点	稲沢市文化振興財団へ生涯学習事業の取り組みを働きかける等協議を開始した。また、地域学校協働活動事業の実施に向けて学校や地域への協力依頼を行った。					

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
生涯学習推進のための取組みとして、稲沢市文化振興財団が文化事業や生涯学習事業の展開を図るためにR5から文化グループ発表会運営の事業委託をすることとした。また地域学校協働活動を開始するために、実施要綱の制定、地域と学校をつなぐ役割の推進員を小中学校から各校1名の推薦をいただくなど準備作業を実施した。
《課題および今後の方針》
新規事業として開始した地域学校協働活動の運営に関しては、今後も全てにおいて調整を図っていく必要がある。また、令和5年度には「2019稲沢市生涯学習推進計画」の中間見直しを図ることとし、現在から5年先を見据え、時代に即した事業内容に変えていくことが今後の課題である。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
19	文化・芸術の振興	生涯学習課
施策の目標 (基本方針)	文化・芸術活動が盛んな地域を目指す。	
《これまでの取組状況》		
<p>○平成20年度に文化協会、音楽協会及び美術協会を統合し、文化団体連合会を設立</p> <p>○市民会館自主事業を開催するため、市民会館文化事業補助金の交付</p> <p>○芸術文化の普及を図るため、文化活動団体の活動発表等に対する文化振興奨励補助金の交付</p> <p>○稲沢市文化振興指針を策定</p>		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	市民会館文化事業補助金の交付	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	文化発信拠点施設である市民会館において、「地域づくり事業基金」を活用し、市民会館文化事業に対して補助を行い、市民の文化・芸術の振興を図る。			
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	補助金額：20,000千円（内5,740,751円返還） 事業数16、入場者数3,995人 事業内容：音楽家の集い、ファミリーコンサート、稲沢市民寄席、郷土の音楽家による演奏会、セントラル交響楽団公開リハーサル等 新規事業：耀け!!未来の音楽家、日本の伝統芸能を繋ぐ、八代亜紀50周年コンサート	補助金額：20,000千円（内10,505,647円返還） 事業数18、入場者数9,986人 事業内容：響け!!未来の音楽家、セントラル交響楽団共催事業、音楽家の集い、合唱コンクール、全国学校音楽コンクール等 新規事業：稲沢市民寄席「柳家さん喬・柳家喬太郎 親子会」、舞台 デュラララ!!「円首片足の章」	補助金額：17,390千円（内8,660,320円返還） 事業数18、入場者数13,090人 事業内容：響け!!未来の音楽家、セントラル交響楽団共催事業、音楽家の集い、合唱コンクール、全国学校音楽コンクール等	
令和4年度の変更点・改善点	まだ続いている「コロナ禍」の影響に加え、大ホール及び中ホールの天井改修工事を踏まえて、これまで承継してきた事業に絞り込んで展開した。			
事業名②	文化振興奨励補助金の交付	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	市民の文化振興を図るため、「稲沢市文化振興基金」を活用し、市民の自主的・自発的な各種活動に対して予算の範囲内で助成を行う。			
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	補助件数4件 補助金額246千円 事業別内訳：公演・展示等の芸術文化事業3件、講師招請事業1件	補助件数9件 補助金額592千円 事業別内訳：公演・展示等の芸術文化事業7件、講師招請事業1件、出版事業1件	補助件数8件 補助金額486千円 事業別内訳：公演・展示等の芸術文化事業8件	
令和4年度の変更点・改善点	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止又は内容変更した結果、補助対象経費の額が下限額を下回った場合においても補助対象経費の2分の1以内において補助することができることとし、減少してきている申請件数を増やすため、広報・ホームページへの掲載、チラシの配布等の周知を行った。			

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
<p>○市民会館文化事業補助では、当該年度においてもコロナ禍にあり対策を伴っての開催であったが、事業の中止はなく、予定していた事業をすべて実施することができた。</p> <p>○文化振興奨励補助金事業では、前年度より多くの申請交付件数を期待していたが、コロナ禍の影響もあり、未だ実施を控える団体が相当数あったためほぼ横ばいであった。</p>
《課題および今後の方針》
<p>○市民会館文化事業補助については、増額することが困難であり、企画内容が市民の関心や興味を惹く事業選定を文化振興財団とともに検討していく必要がある。</p> <p>○文化振興奨励補助金事業については、コロナ禍で衰退した文化・芸術活動を盛り上げるため、より一層事業のPRに努める必要がある。</p>

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
20	文化財保護	生涯学習課
施策の目標 (基本方針)	市内に所在する多数の貴重な文化財を保存・保護しながら、その活用を図るとともに、文化財に関する講座や行事を開催し、市民の文化財愛護意識の高揚を図る。また、埋蔵文化財の発掘調査・保護、伝統芸能の保存・継承等に関する事業を行う。	
《これまでの取組状況》 ○埋蔵文化財発掘調査の実施 尾張国分寺跡は昭和36年から令和2年度まで22回の発掘調査を実施。 ○伝統芸能保存・継承に関する事業の実施 尾張の虫送り行事保存管理事業・木遣音頭保存管理事業などの実施。 ○文化財展事業の実施 稲沢の文化財展や文化財公開デーの実施。 ○文化財講座などの実施 古文書講座・歴史講座・文化財愛護少年団の活動などの実施。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	史跡尾張国分寺跡保存整備事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	尾張国分寺跡については、過去の発掘調査により概ね位置や規模を確定した金堂跡・塔跡・講堂跡など、伽藍の中心部分について、平成24年1月24日に先行して国の史跡指定をうけた。平成23年度から平成27年度にかけて寺域確認の発掘調査を実施し、その成果を基に寺域全体について、平成30年10月15日に追加指定をうけた。今後、未指定地の解消を図るとともに、保存整備について検討する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	未指定地の解消を図るとともに、法定相続人不存在の土地の対応方法を検討した。また第22次発掘調査として、平成30年度実施した地下レーダー探査の結果をもとに、未確認主要伽藍の位置の絞り込みを行うため僧房付近の発掘調査を行った。	未指定地の解消を図るとともに、地権者に対し史跡整備の進捗状況についての説明会を開催した。また第20次から22次発掘調査の成果をまとめた調査報告書を令和4年度に発行するため、発掘した遺物ほかの整理及び原稿の作成を行った。	史跡の有効活用を図るため、建築物や駐車場の整備が史跡指定地内でも行えるよう緩和措置を講じるよう国に要望した。また年度末に第20次から22次発掘調査の成果をまとめた調査報告書を発行するため、原稿の作成を行った。			
令和4年度の変更点・改善点	史跡の有効活用のため、史跡指定地内でも駐車場等の整備が行えるよう国に要望した。					
事業名②	伝統芸能保存・継承に関する事業			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	県・市指定の無形民俗文化財に対し、行事の実施、後継者の育成のため支援を行う。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	愛知県指定の無形民俗文化財尾張の虫送り行事は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。日下部太鼓・木遣音頭・山崎地蔵寺太鼓は感染防止対策をとり、保存会により後継者の育成などの活動が行われた。	愛知県指定の無形民俗文化財「国府宮の儼追祭」は規模を縮小し開催し、「尾張の虫送り行事」は中止となった。日下部太鼓、木遣音頭、山崎地蔵寺太鼓は、感染防止対策をとりながら保存会により後継者の育成などの活動が行われた。	県指定無形民俗文化財「国府宮の儼追祭」は実施。「尾張の虫送り行事」は祭礼はせず、実盛人形の作成を行った。「こがし祭り」は3年ぶりに実施した。日下部太鼓、木遣音頭、山崎地蔵寺太鼓の保存会は、感染防止対策をとりながら後継者の育成などの活動を行った。			
令和4年度の変更点・改善点	「尾張の虫送り行事」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事は開催せず、実盛人形の作成のみを実施し、保存会内での技術の伝承を行った。					

事業名③	文化財展事業			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	「稲沢の文化財展」、「文化財公開デー」などを開催し、文化財の公開をする。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	10月15日～18日の会期で、「令和2年度中高記念館公開&稲沢の文化財展」を中高記念館で開催し、74人の入場者があった。1階では令和元年度に尾張国分寺跡で実施した第21次発掘調査の成果を、2階では昔の学校関係の資料・授業で使われていた物と、寄贈を受けた資料の展示を行った。	10月14日～17日の会期で予定した「中高記念館公開&稲沢の文化財展」及び「文化財公開デー」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、祖父江生涯学習センターの開館を記念して、展示コーナーで10月に亡くなった漫画家さいとうたかお氏等の資料の特別展示を行った。	5月28日に平和町の長福寺で「文化財公開デー」を実施し、市指定文化財木造不動明王立像等の公開を行った。また、「中高記念館公開&稲沢の文化財展」では、特別展「劇画家佐藤まさあき」展を実施し、彼の作品や、著名な親族たちの作品等を展示し、606人の観覧があった。	
令和4年度の変更点・改善点	前年度は中止した事業を、新型コロナウイルス感染症感染防止対策をとりながら実施した。			
事業名④	文化財講座などの開催			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	文化財関連講座、文化財講演会などを開催し、市民の文化財への知識と理解を深める。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	市内2か所において古文書・歴史の2講座を実施。文化財公開デーは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。また、文化財講演会を12月6日に開催した。なお中高記念館の一般公開は稲沢の文化財展と同時に開催した。	市内2か所において古文書・歴史の2講座をて実施した。また、文化財講演会を11月21日に開催し、65人の参加者があった。文化財愛護少年団は50人の応募があり、勾玉作りなど8回の活動をした。	市内2か所において古文書講座・歴史講座の2講座を実施した。また、文化財愛護少年団に32人の応募があり、織物作りや市外文化財見学など年間9回の活動を実施。	
令和4年度の変更点・改善点	歴史講座は、市の中心にあたる勤労福祉会館で行った。各事業において新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら進めた。			

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
<p>○史跡尾張国分寺跡保存整備事業は、未指定地の解消を図るとともに、国に史跡内に駐車場等の建築物の建設ができるよう要望した。また第20次から22次発掘調査の成果をまとめた調査報告書を発行した。</p> <p>○「国府宮の儼追祭」は開催し、「虫送り行事」の行事は中止したが、実盛人形を作成し後継者育成に努めた。「木遣音頭」、「日下部太鼓」、「山崎地蔵寺太鼓」の保存会は、感染症対策をとりながら後継者育成などの活動にも取り組んだ。</p> <p>○稲沢の文化財展において特別展「劇画家佐藤まさあき」～つながる文化人の親族たち～を開催し、彼の作品や、著名な親族たちの作品等を展示し、606人の観覧があり、好評だった。</p> <p>○歴史講座は会場を勤労福祉会館に変更して開催し、延べ受講者数は160人であった。また、文化財愛護少年団の活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら9回開催した。</p>
《課題および今後の方針》
<p>○史跡尾張国分寺跡については、引き続き未指定地の解消を図る方策を検討するとともに、国へ史跡内に建築物ができるよう要望する。</p> <p>○伝統芸能等の継承については、保存会の方々が活動を通して魅力を発信することにより、市民の関心を高め、後継者の確保と育成をする必要がある。</p> <p>○文化財展事業については、文化財の展示場所を確保するとともに、文化財の有効活用を図る。</p> <p>○講座の開催にあたり、新規の受講者を開拓できるよう、開催方法等を検討する必要がある。</p>

番号	施策名	担当課
21	成人・家庭教育、青少年健全育成の推進	生涯学習課
施策の目標 (基本方針)	子育て世帯の不安を解消し、子どもを安心して産み育てることができるまちを目指す。 家庭・学校・地域が連携し、豊かな人間性・社会性を身につけた青少年の育成を目指す。	
《これまでの取組状況》 ○子育ての不安解消や親子が触れ合う機会の充実を図るため、家庭教育講座を実施している。 ○地域ぐるみでの青少年の健全育成を図るため、少年愛護センター指導員による街頭パトロールや青少年健全育成市民大会を開催している。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	成人・家庭教育事業	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	講座・教室を開催する。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	子育てセミナー1教室、親子ふれあい広場2講座、親子ふれあい教室9教室、子ども教室1教室及び家庭教育学級を開催	親子ふれあい広場2講座、親子ふれあい教室13教室、子ども教室4地区21教室、成人大学5講座を開催	子育てセミナー3教室、親子ふれあい広場5講座、親子ふれあい教室4教室、親子でクッキング6教室、子ども芸術大学、家庭教育学級、寿教室4地区、寿教室(祖父江)、寿教室特別講座及び成人大学前後期を開催	
令和4年度の変更点・改善点	親子でクッキングを3教室から4教室とした。親子ふれあい教室(理科教室)では、市のバス廃止に伴い、バス移動でフィールドワークを行っていたものを室内実験とした。新たに寿教室特別講座(2回)を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月下旬と8月上旬に予定していた親子ふれあい教室の造形教室2教室、親子でクッキング2教室を中止した。			
事業名②	青少年教育事業	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	少年愛護センター指導員が市内を巡回し、青少年に声かけを行うとともに、街頭啓発活動等を通じ、青少年の非行防止を図る。 地域ぐるみでの青少年の健全育成を図るため、青少年健全育成市民大会を開催する。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	指導員による声かけ人数257人(全ての声かけ人数を表記) 青少年健全育成市民大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	指導員による声かけ人数334人(全ての声かけ人数を表記) 青少年健全育成市民大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	指導員による声かけ人数386人 青少年健全育成市民大会 7月2日(土)参加者数313人 中高生による事例発表、大会宣言、記念講演	
令和4年度の変更点・改善点	3年ぶりに青少年健全育成市民大会を手指消毒等の新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施した。			

■ 教育委員会による評価(自己評価)

《令和4年度の実績・評価》 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子ふれあい教室4教室を中止したが、これ以外の事業は全て実施することができた。 ○青少年健全育成市民大会は3年振りに実施することができた。
《課題および今後の方針》 ○成人・家庭教育事業については、時代に即した、興味をひくテーマや開催方法を検討していく。また、文化振興指針に基づいて稲沢市文化振興財団への移行を進めていかなければならない。 ○指導員の安全に配慮した街頭パトロールの実施を模索していくとともに、担い手の確保が課題となっている。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
22	生涯学習施設整備事業	生涯学習課
施策の目標 (基本方針)	多くの生涯学習施設が、老朽化等により、大規模な改修を進める必要があるため、計画的に整備を図る。	
《これまでの取組状況》 ○各施設、設備等の改修及び整備工事を適宜進めている。 H30 勤労青少年体育センター耐震補強ほか工事 R1 勤労青少年ホーム解体工事、市民会館改修工事（冷温水発生機） R2 祖父江生涯学習施設新築工事、大里西公民館新築工事、勤労福祉会館改修工事（冷温水発生機）、稲沢公民館増築工事、稲沢公民館改修工事（空調設備ほか）、市民会館改修工事（自家発電機、ワイヤレス音響設備） R3 祖父江町勤労青少年ホーム解体工事、祖父江生涯学習センター外構工事、大里西公民館駐車場整備工事		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	市民会館特定天井耐震化事業	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
事業概要	稲沢市民会館大ホール・中ホールの天井等落下防止対策を行うため、現地調査、設計、改修を行う。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館改修工事(天井落下防止対策)基本設計業務委託 期間:R2.7.16~R3.2.10 契約金額:9,653,600円 	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館改修工事(天井落下防止対策)設計業務委託 期間:R3.7.1~R4.3.27 契約金額:18,700,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館改修工事(天井落下防止対策)【R4~6継続】 大ホール天井工事:期間:R4.10.6~R5.8.31契約金額:423,478,000円 中ホール天井工事:期間:R5.9.1~R6.6.30契約金額:248,050,000円 	
令和4年度の変更点・改善点	資源価格の高騰に伴い当初設計額による一括発注が困難となり、先に大ホールを、続いて補正予算の議決後に中ホール工事の発注を行うことに変更した。			
事業名②	大里西公民館駐車場等整備事業	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
事業概要	令和2年度に実施した公民館の新築移転と3年度に旧建物の解体が完了したことに伴い、跡地等の駐車場整備を行う。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 新築工事 期間:R2.7.1~R3.3.27 契約金額:326,370,000円 監理業務委託 期間:R2.7.1~R3.3.27 契約金額:10,450,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 解体工事 期間:R3.5.25~R4.3.20 契約金額:42,613,098円 駐車場整備工事 期間:R3.5.25~R4.3.20 契約金額:3,451,899円 	<ul style="list-style-type: none"> 大里西公民館整備工事(駐車場ほか) 期間:R4.8.4~R5.3.1 契約金額:24,860,000円 変更契約:250,800円増 理由:旧公民館敷地境界U型側溝撤去工事の追加 	
令和4年度の変更点・改善点	工事に合わせ、児童センター西の駐車場のライン引き直しや倉庫の建て替えも行う。			
事業名③	稲沢東公民館空調設備等改修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 継続		
事業概要	老朽化した空調設備を更新するもので、総合文化センター廃止及び小正市民センター移転に伴う改修に合わせて実施する。			
事業計画	冷温水発生機、クーリングタワー、ポンプ機器の更新。その他電気・機械工事一式。			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 稲沢東公民館改修工事(空調設備) 期間:R4.8.4~R5.2.19 契約金額:20,185,000円 変更契約:1,053,800円増 理由:冷温水機架台及び工事関連の接続配管老朽に伴う改善のため。 			

事業名④	勤労福祉会館屋上防水整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 継続
事業概要	老朽化した現行の屋根防水シート等を剥がし、下地処理の上防水被膜樹脂を吹付け機能を回復させる。	
事業計画	渡り廊下棟ほかの屋上防水工事を実施する。既設防水層撤去、高圧洗浄及びウレタン系塗膜防水施工。	
実施状況	・ 勤労福祉会館改修工事（屋上防水） 期間：R4. 11. 12～R5. 2. 9 契約金額：3,740,000円 変更契約：1,694,000増 理由：同じく老朽化により雨漏りの発生する恐れのある接続した工事箇所を追加したため。	

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
<p>大里西公民館駐車場等整備事業は、これにて全て完了することとなり、当面は関連する事業の執行はない。 市民会館特定天井工事では、4年度に大ホールから始まり、工事監理のため会議を重ね計画通りに進行している。</p>
《課題および今後の方針》
<p>市民会館特定天井工事では、大ホール工事を8月10日までに完全に良好な状態で完了を迎え、引き続き中ホール工事においても事故等における遅延がないよう工事を遂行させるため工事監理を着実にやっていく必要がある。また、市民会館では完成から28年経過し、経年劣化による空調などの大規模修繕工事を行う必要があるが、予算規模が多いため着手できない状況が続いている。</p>

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
23	スポーツ振興事業	スポーツ課
施策の目標 (基本方針)	スポーツ団体の育成、充実に努めることにより、市民がより多くのスポーツ行事に参加し、健康で明るい市民生活に寄与するとともに競技力の向上を図る。	
《これまでの取組状況》 ○地区体育振興会、スポーツ協会、スポーツレクリエーション協会、スポーツ少年団の活動に対して補助をしている。 ○地区体育振興会については、市町村合併以後、全地区で組織化され、地区住民の健康増進や体力づくりのためのさまざまな活動を実施している。スポーツ協会、スポーツレクリエーション協会、スポーツ少年団についても、健康増進はもとより、競技力の向上に努めている。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	スポーツ普及振興	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
事業概要	スポーツを通じて地域コミュニティの形成を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指すとともに、総合型地域スポーツクラブを設立し、その育成を図る。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	総合型地域スポーツクラブは順調に活動しているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、祖父江地区では54教室中14教室が、平和地区では37教室中10教室が中止となっている。参加者数については、祖父江地区が877人、平和地区が243人となっている。	総合型地域スポーツクラブは新型コロナウイルス感染症予防対策を施し、順調に活動している。祖父江地区では58教室、平和地区では21教室を事業計画通り開催することができた。参加者数については、祖父江地区が1,242人、平和地区が335人となっている。	総合型地域スポーツクラブは新型コロナウイルス感染症予防対策を施し、順調に活動している。祖父江地区では66教室、平和地区では22教室を事業計画通り開催することができた。参加者数については、祖父江地区が1,424人、平和地区が347人となっている。	
令和4年度の変更点・改善点				
事業名②	スポーツ団体の育成・充実	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
事業概要	地区体育振興会、スポーツ・レクリエーション事業参加者数を増やし、スポーツ団体の育成・充実を図る。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	補助事業の実施 スポーツ少年団 617,000円 地区体育振興会補助金 12地区 365,511円 スポーツ協会 4,670,100円 スポーツレクリエーション協会 200,000円 スポーツ推進委員活動の推進 指導者の育成	補助事業の実施 スポーツ少年団 617,000円 地区体育振興会補助金 9地区 755,760円 スポーツ協会 5,106,886円 スポーツレクリエーション協会 250,000円 スポーツ推進委員活動の推進 指導者の育成	補助事業の実施 スポーツ少年団 617,000円 地区体育振興会補助金 10地区 1,292,422円 スポーツ協会 6,000,000円 スポーツレクリエーション協会 200,000円 スポーツ推進委員活動の推進 指導者の育成	
令和4年度の変更点・改善点	地区体育振興会は、新型コロナウイルス感染症の影響により5地区で活動を休止した。			

事業名③	スポーツ振興基金の運営			□新規 □重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	優秀なスポーツ選手への助成、ジュニア選手の育成事業、スポーツを通して相互理解、競技力向上を目的としての交流事業を実施する。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	優秀なジュニア選手への奨励金の交付(4人) 200,000円 助成事業 0円	優秀なジュニア選手への奨励金の交付(7人) 350,000円 助成事業 0円	優秀なジュニア選手への奨励金の交付(4人) 200,000円 助成事業 0円	
令和4年度の変更点・改善点				
事業名④	トップアスリートとの交流事業			□新規 □重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	トップアスリートとの交流を通じて選手、指導者としての技術の向上、スポーツに対する意識の高揚や夢を抱かせるきっかけをつくることを目的として実施する。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	トップアスリートによる中学校部活動指導及びオリンピックによるトークショー・体験会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	トップアスリートによる中学校部活動指導を8回実施した。オリンピックによるトークショー・体験会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	トップアスリートによる中学校部活動指導を計14回(バレー9回、ハンド2回、バスケ3回)実施した。ホッケー体験会を開催し、26名が参加した。また、ウルフドッグス名古屋の選手による、小中学校の体育授業補助、講座等を行った。	
令和4年度の変更点・改善点	バレーボールチーム「ウルフドッグス名古屋」の選手を職場実習生として受け入れた。(6/1～7/29)			

■ 教育委員会による評価(自己評価)

《令和4年度の実績・評価》
<p>○総合型地域スポーツクラブにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、予定通り教室を開催できました。</p> <p>○地区体育振興会では、各地区で事業計画するも新型コロナウイルス感染症の影響により5地区で活動を休止した。</p> <p>○スポーツ振興基金により、優秀ジュニア選手への奨励金の交付を行ったが、育成のための助成事業については該当する団体はなかった。</p> <p>○トップアスリートによる中学校部活動の指導について、バレーボール、ハンドボール、バスケットボールと3競技実施することができた。また、小学生に対しホッケー体験教室を開催した。</p>
《課題および今後の方針》
<p>○市内全地区の地区体育振興会が運動会の事業が3年間実施されていないので、実施に向け支援、協力体制を築く必要がある。</p>

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
24	体育施設維持管理	スポーツ課
施策の目標 (基本方針)	公共体育施設の適切な管理運営及び利用の拡大を図るため、指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上や経費の削減等を図る。 地域スポーツの振興に欠くことのできない学校体育施設の効率的な利用を推進し、市民の体力向上と健康の増進を図る。	
《これまでの取組状況》		
○指定管理者制度導入状況 祖父江の森（令和元年度～令和5年度）市民球場等（令和元年度～令和5年度） 総合体育館（令和元年度～令和5年度）祖父江町体育館（令和元年度～令和5年度） 平和町体育館等（令和元年度～令和5年度）		
○指定管理者の自主事業等については、各種教室の開催や季節ごとのイベントを行うなど市民サービスの向上に努めている。また、電気料等の経常的経費の見直しや施設修繕の早期対応等経費削減に努めている。		
○現在、市内の小学校23校と中学校9校の運動場と体育館並びに中学校の柔剣道場を開放しており、令和2年から新たに稲沢東高校のレスリング場を追加。地域でのスポーツ活動の中心的活動場所となっている。		
○運営にあたっては、小学校区単位で「学校開放運営協議会」を設置し、地域住民により自主管理を行っており、中学校においては「学校開放管理指導員」を置き、管理運営にあっている。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	公共体育施設の適切な管理運営及び利用の拡大		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	指定管理者により市民サービスの向上や経費の削減等を図る。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	利用実績 ・祖父江の森 50,587人 ・市民球場等 78,317人 ・総合体育館 39,575人 ・祖父江町体育館 56,778人 ・平和町体育館等 51,983人	利用実績 ・祖父江の森 93,392人 ・市民球場等 99,311人 ・総合体育館 18,731人 ・祖父江町体育館 45,683人 ・平和町体育館等 56,336人 総合体育館改修工事(8月～3月)	利用実績 ・祖父江の森 113,802人 ・市民球場等 107,846人 ・総合体育館 74,949人 ・祖父江町体育館 52,892人 ・平和町体育館等 59,163人
令和4年度の変更点・改善点	総合体育館、祖父江町体育館及び平和町体育館に非接触セルフ検温器を各2台設置した。		
事業名②	学校開放体育施設の有効利用		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	小学校、中学校等の学校体育施設を有効利用し、安心安全に利用できるよう適宜整備を行う。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	利用実績 ・運動場 1,555件 ・体育館、柔剣道場 2,980件 ・夜間照明施設 300件 ・プール 中止	利用実績 ・運動場 1,801件 ・体育館、柔剣道場 5,435件 ・夜間照明施設 257件 ・プール 1,671人	利用実績 ・運動場 2,841件 ・体育館、柔剣道場 7,889件 ・夜間照明施設 372件 ・プール 1,949人
令和4年度の変更点・改善点			

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
○公共体育施設の管理運営について、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、通年営業することができた。指定管理者との連絡・調整・報告等を密に行うことで、大きなトラブル等の発生も起きず、市民が安全に利用することができた。
○学校開放管理指導員、学校開放運営協議会との連絡調整を確実にし、迅速な対応に努めることで適切な管理運営ができた。
《課題および今後の方針》
○各体育施設における日常の点検等を行い、計画的、適切に予防修繕などを行い、市民が安心安全に利用できるような環境にしていく必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
25	体育施設整備事業	スポーツ課
施策の目標 (基本方針)	昭和50年代に建設された体育施設が多くあり、建設から約40年経過し、老朽化等により、大規模な改修を進める必要があるため、計画的に整備を図る。	
《これまでの取組状況》		
○各施設の改修工事を適宜進めている。		
令和2年度	祖父江の森改修工事（リニューアルほか） 総合体育館非常用照明装置取替工事	（令和元年～2年度継続事業）
令和3年度	総合体育館改修工事（天井落下防止対策ほか） 総合体育館改修工事（空調設備）	（令和3年7月～令和4年3月） （令和3年8月～令和4年3月）

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	武道館等駐車場整備工事	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 継続
事業概要	（仮称）井之口調理場の建設に伴い、武道館等の駐車場が不足するため、武道館東側、東部体育センター東側、及び北側駐車場を再整備するもの。	
事業計画	工事区間内の造成、舗装整備、樹木撤去、側溝工事及び武道館東側駐車場の防護柵設置等。	
実施状況	工事期間：令和4年4月28日～令和4年9月14日 契約金額：8,960,600円	

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》
○駐車場の拡張により利用者の利便性の向上に繋がった。
《課題および今後の方針》
○他の体育施設も大規模な改修工事が必要となっており、計画的に進められるよう現状把握と改修計画の立案を進める。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
26	図書館資料の充実	図書館
施策の目標 (基本方針)	一般書、児童書、参考図書など図書資料、視聴覚資料の充実に努める。	
《これまでの取組状況》		
○令和5年3月末現在の蔵書数 図書 一般書：484,521冊 児童書：114,588冊 コミック：22,438冊 視聴覚資料 CD：12,885点 DVD：6,744点 郷土資料：17,915冊 大活字本：3,648冊（以上、一般書のうち） YA図書：18,140冊（以上、中央図書館児童書のうち）		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	図書資料の購入		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	一般書、児童書など図書資料を購入する。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	図書資料購入状況 一般書 9,464冊 20,215,139円 児童書 4,622冊 8,714,531円 コミック1,368冊 1,066,239円 合計 15,454冊 29,995,909円	図書資料購入状況 一般書 8,433冊 17,773,035円 児童書 4,250冊 8,224,232円 コミック1,270冊 997,964円 合計 13,953冊 26,995,231円	図書資料購入状況 一般書 8,166冊 17,335,481円 児童書 4,182冊 7,995,388円 コミック1,150冊 923,977円 合計 13,498冊 26,254,846円
令和4年度の変更点・改善点	図書資料の購入については、図書購入計画に基づき多分野のバランスを取るとともに、市民のリクエストに応じたり、話題の作品を購入するなど弾力的な購入に努め、YAコーナーの資料の更新を行った。		
事業名②	視聴覚資料の購入		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	CD、DVDの視聴覚資料を購入する。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	視聴覚資料購入状況 CD 97枚 407,853円 DVD 131枚 1,589,771円 合計 228枚 1,997,624円	視聴覚資料購入状況 CD 159枚 651,414円 DVD 186枚 2,347,808円 合計 345枚 2,999,222円	視聴覚資料購入状況 CD 112枚 470,386円 DVD 125枚 1,826,581円 合計 237枚 2,296,967円
令和4年度の変更点・改善点	令和4年度は、尾西信用金庫様からの寄付30万円を視聴覚資料に充当し、中央図書館に設置する「尾西信用金庫視聴覚ライブラリー」の充実を図った。		
事業名③	電子図書館の開設及び電子書籍の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 継続
事業概要	電子図書館を開設し、電子書籍の充実を図る。		
事業計画	7月1日に電子図書館を開設し、初年度は1000点の電子書籍を用意。電子図書館の利用を増やすために、電子書籍の充実や周知・啓発として、電子図書館利用の出前講座を開設したり、リーフレットの配付やHPでの掲載等を行う。		
実施状況	令和4年7月電子書籍開設 電子書籍購入数 1,099点 3,739,945円 貸出数 6,970点、閲覧数 18,097回		

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

- 図書の購入に関しては、購入計画に基づき計画的な購入を行った。
- 視聴覚資料の購入に関しては、寄付による30万円を充当し「尾西信用金庫視聴覚ライブラリー」の充実を図った。
- 令和4年7月に電子図書館を開設し、想定を上回る利用があった。

《課題および今後の方針》

- 中央図書館の図書について、書庫に余裕がなくなってきたため図書の更新が必要である。
- 視聴覚資料の購入に関しては、各館のバランスを図るため図書館間での調整が必要である。
- 電子書籍は利用回数等に制限のあるものも多いため、ライセンス管理や、利用者層、提供資料のあり方、提供対象から独自の収集方針を検討する必要がある。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
27	図書館サービスの充実	図書館
施策の目標 (基本方針)	絵本の読み聞かせやブックスタート事業等乳幼児に対するサービス、施設見学、職場体験学習の受入れ等児童、青少年に対するサービス、リクエスト制度及び相互貸借制度の活用等成人に対するサービス、声の図書作成・郵送サービス、家庭文庫サービス等、高齢者、障害者に対するサービスの充実に努める。	
《これまでの取組状況》 ○図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ等を、定期的に中央図書館及び祖父江の森図書館において実施。また、ブックスタート事業を、4か月児健康診査時に保健センター等において実施。 ○図書館への施設見学、職場体験学習等の受入れを実施。また、リクエスト制度及び相互貸借制度を活用し、利用者へのサービスを実施。 ○高齢者、障害者に対し、図書館ボランティアによる声の図書作成・郵送サービス、家庭文庫サービスを実施。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	乳幼児に対するサービスの充実			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	絵本の読み聞かせ及びブックスタート事業等を実施する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	絵本の読み聞かせ等（乳幼児対象分） 中央、祖父江とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ブックスタート事業 28回 絵本パック（2箇所） 918人に配付	絵本の読み聞かせ等（乳幼児対象分） 中央については一部再開したが、祖父江については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ブックスタート事業 30回 絵本パック（2箇所） 892人に配付	絵本の読み聞かせ等（乳幼児対象分） 感染症対策を取りながら参加人数を減らして再開。 ブックスタート事業 30回 絵本パック（2箇所） 837人に配付			
令和4年度の変更点・改善点	令和3年度から一部再開した読み聞かせやイベントは、参加人数や回数を減らしてほとんどの事業を再開した。					
事業名②	児童、青少年、成人に対するサービスの充実			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	施設見学、職場体験学習の受入れ、児童閲覧室のテーマコーナーの充実を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	小・中学校、児童・生徒の施設 見学 13回 延べ491人 職場体験学習は中止	小・中学校、児童・生徒の施設 見学 15回 延べ584人 職場体験学習は中止	小・中学校、児童・生徒の施設 見学 15回 延べ531人 職場体験学習は、3校4回11人参加			
令和4年度の変更点・改善点	職場体験学習について、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら積極的に受け入れた。児童閲覧室のテーマコーナーは、密をさけるため設置を取りやめていたが再開した。					
事業名③	高齢者、障害者に対するサービスの充実			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	声の図書作成・郵送サービス、家庭文庫サービスの充実を図る。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	家庭文庫 登録者2人に延べ96冊貸出 声の図書作成・郵送サービス 利用者17人に延べ219点貸出	家庭文庫 登録者2人に延べ96冊貸出 声の図書作成・郵送サービス 利用者17人に延べ226点貸出	家庭文庫 登録者2人に延べ64冊貸出 声の図書作成・郵送サービス 利用者12人に延べ151点貸出			
令和4年度の変更点・改善点	今年度もボランティアの協力により、デイジー図書の増加を行った。新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、デイジー図書編集講座を開催し、ボランティアの技術向上を図った。					

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

- ボランティア団体による定例の読み聞かせ会を感染対策を取り順次再開した。
- イベント・講座についても感染対策を取り、定員を減らして大部分を実施した。
- 高齢者、障害者も来館することなく図書が借りられるよう電子図書館を導入した。

《課題および今後の方針》

- YA向けイベントについて、連携の可能性も視野に入れて今後のあり方を検討していく。
- 高齢者や障害者に対し、提供済みサービスの更なる周知による利用拡大。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
28	子ども読書活動推進	図書館
施策の目標 (基本方針)	子どもが自主的に読書活動を行うことができるように環境の整備を図る。	
《これまでの取組状況》 ○子ども読書活動推進計画を効果的に推進していくために図書館協議会において進行管理を実施。 ○「子ども読書の日」に因んで、イベントを開催。 ○11月を読書月間として、図書館ボランティアの協力により、絵本の読み聞かせなどのイベントを開催。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	子ども読書活動推進計画の進行管理			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	図書館協議会において子ども読書活動推進計画の進行管理を行っていく。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	「家読（うちどく）」の啓発、「すくすくいなッピー」への情報提供を行った。	第3次計画第1回アンケート調査及び各機関の具体的な取組み状況調査の実施	家読の啓発、「すくすくいなッピー」への情報提供、各機関の具体的な取組み状況調査の実施			
令和4年度の変更点・改善点	昨年度に引き続き、各機関の実施事業を基に事業の継続状況等の調査を行った。					
事業名②	子ども読書の日に因んでイベント開催			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	4月23日の子ども読書の日に因んだイベントを図書館ボランティアの協力により開催。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	開催期間 4月9日～27日 大型絵本のおはなし会（10人）、図書館探検ツアー（7人）の開催、選べる小物入れ（51個）の配布			
令和4年度の変更点・改善点	令和2年度から2年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にしていたが、今年度から各ボランティアによるプログラムを再開していただいた。					
事業名③	読書週間に因んでイベント開催			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	全国読書週間（10月27日から11月9日）に因んでイベントを開催。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	開催期間 11月13日～14日 大型絵本の読み聞かせ（4組10人）、秋のおはなし会（3組7人）のイベントを開催	開催期間 11月3日～30日 朗読のひととき（35人）、大型えほんのおはなし会（5人）、秋の語りの会（29人）、秋のお楽しみ会（56人）のイベントを開催、クリスマスリースを作ろう（61個）の配布			
令和4年度の変更点・改善点	昨年度からイベントを一部再開していたが、今年度は、コロナ禍前に開催していたイベントをほぼ再開した。					

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

- 学校配本サービスにSDGs関連のセットを追加した。
- 第3次稲沢市子ども読書活動推進計画の進行管理を行うにあたり、各実施機関で実施している施策の実態調査を実施した。

《課題および今後の方針》

- 第3次稲沢市子ども読書活動推進計画の進行管理のため、令和5年度も引き続き各実施機関で実施している施策の実態調査を行う。また、子どもの読書環境の実態を把握することを目的に「第2回子どもの読書活動に関するアンケート」を実施する。
- 令和6年度からの「第4次稲沢市子ども読書活動推進計画」の策定に向けた準備を行う。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
29	収集・保存事業	美術館
施策の目標 (基本方針)	所蔵品の充実を図るため、美術品等購入基金を積み立てる。また、常設展示の充実を図るため、個人や法人から荻須作品の寄付・寄託を受ける。 貴重な荻須作品の劣化が進まないよう作品の保護、修復と劣化要因の除去を行う。	
《これまでの取組状況》 ○平成8年度以降、荻須作品を購入して所蔵作品の充実に努めてきた。 ○荻須作品所蔵者から作品寄付・寄託の申し出があった場合、収集委員会で審議した後、受け入れ、常設展で展示している。 ○平成14年度から所蔵作品をよりよく保存、展示するため、作品の劣化要因を除去するとともに展示効果の高い保護材を作品の額装に採用している。 ○平成27年度に所蔵品の増加に対応できるように、収蔵庫を増築しバックヤードを充実させた。 今後、良い作品があれば荻須作品を購入し、また寄付、寄託を受けるよう努める。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	荻須作品の収集		
	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
事業概要	令和3年度末で所蔵する荻須の油彩画作品は38点であるが、常設展では主要作品を常時展示しており、作品を休めることができない。このため油彩画作品の所蔵点数を50点以上にすることで、常設展での作品の展示替えを可能にする。 過去の購入点数：昭和55年度 2点、平成4年度 1点、平成8年度 2点、平成10年度 3点、平成13年度 2点、平成16年度 2点、平成19年度 2点、平成22年度 3点、平成25年度 1点、平成28年度 1点、令和2年度 2点 合計 21点 過去の寄付点数：昭和55年度 1点、昭和57年度 7点、昭和61年度 2点、平成17年度 1点、平成19年度 1点、平成23年度 1点、平成24年度 1点、平成26年度 1点、平成27年度 1点、平成28年度 1点 合計 17点 今後の購入計画：今後も良い作品があれば購入できるようにするため基金を積み立てる。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・荻須の代表作《ガラージュ》30号を遺族から、また《ヴェネツィア、リオ・ディ・フォンテーゴ》60号を個人から、収集委員会（5月15日開催）に諮った後、購入した。財源として、美術品等購入基金繰入金を充当した。 ・美術品等購入基金 67,800,000円取り崩し 5,534,242円積立て（年度末残額：11,279,440円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品等購入基金への積立て 14,982,801円（年度末残額：26,262,241円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人から油彩画1点の寄付申出があり、収集委員会（令和4年2月17日開催）に諮った後、受理した。 ・個人から油彩画1点、別の個人からリトグラフ1点の寄付申出があり、収集委員会（2月28日開催）に諮った後、受理した。 ・美術品等購入基金への積立て 21,112,765円（年度末残額：47,375,006円）
令和4年度の変更点・改善点			

事業名②	寄託作品の受入れ			□新規 □重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	それぞれの所蔵家から、1年から3年までの期間で荻須作品の寄託を受入れている。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	寄託作品:油彩画9点、水彩画1点、資料1点 ※受託していた油彩画1点《ヴェネツィア、リオ・ディ・フォンテーゴ》を購入したため、この1点を除く油彩画10点を前年度からの継続分として寄託を受入れている。	寄託作品:油彩画16点、水彩画1点、資料1点 ※大阪の法人から油彩画6点、富山の法人から油彩画1点の寄託の申出があった。 新規寄託作品について収集委員会(2月17日開催)に諮り、受理した。	寄託作品:油彩画17点、水彩画1点、資料1点 ※受託していた油彩画1点を寄付された。 2名の個人から油彩画各1点計2点の寄託の申出があった。 新規寄託作品について収集委員会(2月28日開催)に諮り、受理した。	
令和4年度の変更点・改善点				

■ 教育委員会による評価(自己評価)

《令和4年度の実績・評価》

○良い荻須作品が出た場合に購入できるよう、印刷物販売収入及び運用益に一般財源を合わせた2,112,765円を美術品等購入基金に積立てた。

《課題および今後の方針》

- 作品の寄付または寄託の申出があった場合には、作品の調査を丁寧に行うとともに、収集委員会の審議により寄付・寄託が承認された作品を受け入れる。
- 荻須作品の情報提供があった場合、作品調査等を実施するなど、顕彰館として荻須作品の情報収集に努める。
- 作品を末永く良好な状態で保存展示できるよう、修復について、必要性を見極めながら実施していく。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
30	展示・公開事業	美術館
施策の目標 (基本方針)	稲沢市出身の洋画家荻須高德を顕彰、紹介する。また、市民の芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに作品発表の機会を設ける。	
《これまでの取組状況》 ○昭和58年の開館以来、常設で荻須高德展を開催し、年1回定期的に展示替を行っている。平成8年にアトリエ復元施設を建設し、公開している。 ○特別展として年1回、荻須高德や荻須に関連する作家等を紹介する展覧会を開催し、市民に鑑賞の機会を提供している。 ○美術館が開館した昭和58年から、美術館を担当課・会場として第20回以降の稲沢市民展と、昭和55年に荻須高德の提言により始まった絵になる町児童生徒絵画展を第4回以降年1回開催している。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	特別展・企画展の開催			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	特別展として年1回、荻須高德や荻須に関連する作家等を紹介する展覧会を開催し、荻須高德への理解がより一層深まるような企画を実施する。					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	<p>牛島憲之展 府中市美術館コレクション</p> <p>内容:荻須と東京美術学校で同級生であり、昭和期の洋画壇で活躍した牛島憲之の作品を展示。日本の情趣をとらえ、深い静謐さを湛えた風景画を府中市美術館のコレクション47点により紹介した。</p> <p>会期:10月24日～12月6日 (38日間) 観覧者数:2,143人(56人/日) 教育普及事業: ・講演会 期日:10月24日 対象:一般 参加:25人 ・子ども美術講座 期日:10月31日・11月7日 (2回開催) 対象:小学生 参加:計28人</p> <p>(助成金) コミュニティ助成事業助成金 3,500千円</p>	<p>生誕120年記念 荻須高德展 ー私のパリ、パリの私ー</p> <p>内容:荻須の画業を一望に鑑賞できるように、パリの街並みを描いた作品を中心に、渡仏初期から晩年までの代表的な油彩画81点を展示。また、画文集に掲載された素描や収録された荻須のことばを展示紹介した。</p> <p>会期:10月23日～12月19日 (50日間) 観覧者数:10,208人(204人/日) 教育普及事業: ・遺族によるギャラリートーク 期日:10月23日 対象:一般 参加:30人 ・講演会 期日:11月3日 対象:一般 参加:25人 ・子ども講座 期日:10月31日・11月7日 (2回開催) 対象:小学生 参加:計26人 (助成金) 芸術文化振興基金助成金 3,458千円 コミュニティ助成事業助成金 1,800千円 (公財)花王芸術・科学財団助成金 500千円</p>	<p>藤島武二 スケッチ百花 ー大川美術館コレクションと名品の彩りー</p> <p>内容:近代日本洋画の発展を支え、荻須ら優秀な画家を育てた藤島武二の作品を展示。大川美術館のコレクションであるスケッチ等100点に油彩画9点を加え紹介した。</p> <p>会期:10月22日～12月4日(38日間) 観覧者数:4,590人(121人/日) 教育普及事業: ・講演会 期日:10月22日 対象:一般 参加:30人 ・子ども美術講座 期日:11月6日・11月13日 (2回開催) 対象:小学生 参加:計27人 ・ギャラリートーク 期日:11月4日・11月26日 対象:一般 参加:計54人</p> <p>(助成金) 芸術文化振興基金助成金 2,000千円</p>			
令和4年度の変更点・改善点	公式SNSアカウントを開設し、展覧会のPRを行った。展示をより楽しんでもらうために、ギャラリートークを実施した。近隣美術館と相互割引を行うことによりPRにつながった。					

事業名②	荻須高德常設展、アトリエの公開			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	常設展では、荻須高德の画業が概観できるように展示するとともに、パネルで油彩作品を概説する。 アトリエの復元施設では、荻須が作品を制作した当時の雰囲気を味わえるようにする。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	油彩 31点 (寄託作品 6点) 水彩 4点 リトグラフ 4点 素描 4点 タピスリー 1点 観覧者数:4,228人	油彩 30点 (寄託作品 6点) 水彩 5点 (寄託作品 1点) リトグラフ 6点 素描 2点 タピスリー 1点 観覧者数:12,578人	油彩 28点 (寄託作品 10点) 水彩 3点 リトグラフ 10点 素描 5点 観覧者数:8,713人			
令和4年度の変更点・改善点						
事業名③	市民展、絵になる町児童生徒絵画展の開催			<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 重点	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	それぞれの要項に従い作品を募集し、入賞・入選者を決定する。市民展は10月に、絵になる町児童生徒絵画展は1月に、入賞・入選作品を展示する。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実施状況	市民展 会期:10月6日～18日(12日間) 展示点数:152点 観覧者数:2,426人 絵になる町児童生徒絵画展 会期:1月5日～17日(11日間) 応募点数:586点 展示点数:230点 観覧者数:2,038人	市民展 会期:10月5日～17日(12日間) 展示点数:155点 観覧者数:2,147人 絵になる町児童生徒絵画展 会期:1月4日～16日(11日間) 応募点数:828点 展示点数:250点 観覧者数:1,996人	市民展 会期:10月4日～16日(12日間) 展示点数:181点 観覧者数:2,410人 絵になる町児童生徒絵画展 会期:1月4日～15日(10日間) 応募点数:809点 展示点数:250点 観覧者数:2,135人			
令和4年度の変更点・改善点						

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

○特別展として、荻須高德などを東京美術学校（現在の東京藝術大学）で指導し、近代日本洋画の発展を支えた藤島武二の展覧会を開催した。ヨーロッパに留学した際に描いた風景画や数多くの女性のスケッチなど青年期から晩年までの多種多様な作品で構成された大川美術館（群馬県桐生市）所蔵のコレクション100点に加え、東京国立近代美術館などが所蔵する油彩画9点を展示し、藤島の豊かな作品世界を紹介した。また、アンケートでは約8割の方が展覧会内容に満足したと回答され、多くの方々喜んでもらえる展覧会となった。

《課題および今後の方針》

○荻須高德を顕彰する世界で唯一の美術館として、荻須高德や荻須に関連する作家等を紹介する特別展を開催し、市民等への鑑賞の機会を提供していく。また市外の方にも幅広く発信し、来館者増に努める。
○荻須及び荻須に関連する作家等を紹介する特別展の企画を通し市民への鑑賞の機会を提供するとともに荻須に関連する各種情報を収集し、調査研究を進める。
○市民の文化芸術活動の拠点として、市民や児童生徒の制作、発表、鑑賞の場を提供するため、市民展や絵になる町児童生徒絵画展を継続していく。
○展覧会や講座などの開催周知が広げられるよう今後も工夫しながら情報を発信していく。

■ 基本事項

番号	施策名	担当課
31	教育・普及事業	美術館
施策の目標 (基本方針)	作品の鑑賞とともに、実技の講座を開講することで、作品を制作する楽しさを感じられるようにする。また、市内の学校との連携により、鑑賞教育(郷土学習)の場を提供する。教育普及の一環として、研修生・実習生を受入れる。	
《これまでの取組状況》 ○市内の小中学校の要望に応え、美術館での鑑賞教育の場を提供している。また平成20年度からは学校教育課との協働で、市内の小学6年生全員が荻須高德の人と作品等についての鑑賞教育(郷土学習)を美術館で実施している。 ○平成22年度からは子どもわくわく美術講座を、平成25年度からはアートスタート、美術館大学パートナーシップ事業を実施している。 ○職場体験学習などの研修生を受入れている。		

■ 令和4年度の主な取組

事業名①	学校との連携による鑑賞教育(郷土学習)の実施	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
事業概要	学校教育課がバスを借り上げ、市内の小学6年生全員が来館し、荻須作品鑑賞等を行う。学芸員が解説を行う。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、児童一人でも鑑賞できるよう、例年作成している鑑賞パンフレットの内容を増補し、対象児童に配付。パンフレットを持参すれば展示室での模写を可とした。	11月5日から12月10日までのうちの11日間で、23校のうち22校の教職員を含む1,203人を受入れた。1校はコロナ禍において日程調整が困難で来館できなかった。	10月26日から12月2日までのうちの11日間で、23校の教職員を含む1,358人を受入れた。
令和4年度の変更点・改善点	事前学習のための学習指導の手引(案)を作成し、全小学校に配付した。		
事業名②	美術講座の開催	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
事業概要	一般の方を対象とした美術に関する講座や、小学生を対象とした子どもわくわく美術講座を実施する。		
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●美術講座「はじめての日本画」(10回講座) 対象:一般対象 参加:13人 ●子どもわくわく美術講座「自分の顔を絵に残そう!」(1回講座・2回開催) 対象:小学生 参加:計35人 ●親子美術講座アートスタート「えほんとおそび」(1回講座) 対象:1歳以上3歳未満の子どもと保護者 参加:3組6人 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもわくわく美術講座「お面を作ろう!」(2回講座・2回開催) 対象:小学生 参加:計27人 ●親子美術講座アートスタート「親子で色あそび」(1回講座) 対象:1歳以上3歳未満の子どもと保護者 参加:7組14人 ●常設展ギャラリートーク(1回講座・2回開催) 対象:小学生と保護者、一般 参加:3組7人、10人 計17人 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもわくわく美術講座「色のいろいろ」(1回講座・2回開催) 対象:小学生 参加:計26人 ●親子美術講座アートスタート「いろ かたち どんな音?」(1回講座) 対象:1歳以上3歳未満の子どもと保護者 参加:7組14人 ●常設展ギャラリートーク(1回講座・4回開催) 対象:一般 参加:計112人
令和4年度の変更点・改善点	昨年度新たに開催したギャラリートークが好評だったため、令和4年度は5月に2回、2月に2回の計4回開催した。		

事業名③	美術館大学パートナーシップ事業			□新規 □重点 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
事業概要	学生、教職員の人数に応じた年会費を納入していただくことで、学生証、教職員証の提示により、稲沢市荻須記念美術館の常設展及び稲沢市主催の特別展を無料で観覧できるもの。また、美術館と大学との協議により、提携して事業を企画実行する。			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実施状況	<p>美術館利用人数 名古屋文理大学 105人 愛知文教女子短期大学 165人</p> <p>●名古屋文理大学 ・情報メディア学科の学生が第57回稲沢市民展のポスターをデザインした。</p> <p>【アート&コンサート】 ・特別展の鑑賞とあわせ、「耳で聴く絵画」をテーマにしたトークと絵画的情景をイメージさせる楽曲による演奏会を楽しむ連携企画を実施。 (協力：一般財団法人稲沢市文化振興財団) 期 日：11月15日 参加者：25人</p> <p>●愛知文教女子短期大学 【美術館で着物を楽しむ エスプリ・ドゥ・ナチュラル】 ・着物を着てスライド解説を聞き、特別展を鑑賞した後、市内飲食店にて特別メニューを賞味する連携企画を実施。 期 日：11月27日 参加者：15人</p>	<p>美術館利用人数 名古屋文理大学 101人 愛知文教女子短期大学 62人</p> <p>●名古屋文理大学 ・情報メディア学科の学生が第58回稲沢市民展のポスターをデザインした。</p> <p>【アート&コンサート】 ・フランス映画と音楽をテーマとしたトークとミニコンサートを楽しんだ後に解説付きで特別展を鑑賞する連携企画を実施。 (協力：一般財団法人稲沢市文化振興財団) 期 日：11月21日 参加者：30人</p> <p>●愛知文教女子短期大学 ・生活文化学科の学生が、美術館周辺マップを作成した。</p> <p>【美術館で着物を楽しむ～鑑賞+アフタヌーンティー】 ・着物を着て解説付きで特別展を鑑賞した後、市内飲食店にてアフタヌーンティーを賞味する連携企画を実施 期 日：11月26日 参加者：14人</p>	<p>美術館利用人数 名古屋文理大学 236人 愛知文教女子短期大学 196人</p> <p>●名古屋文理大学 【アート&コンサート】 ・展覧会にまつわるトークとミニコンサートを楽しんだ後、特別展を解説付きで鑑賞する連携企画を実施。 (協力：一般財団法人稲沢市文化振興財団) 期 日：11月8日 参加者：30人</p> <p>●愛知文教女子短期大学 ・生活文化学科の学生が、美術館周辺案内図等を作成。</p> <p>【美術館で着物を楽しむ～鑑賞+アフタヌーンティー】 ・着物を着て解説付きで特別展を鑑賞した後、市内飲食店にてアフタヌーンティーを賞味する連携企画を実施 期 日：11月15日 参加者：15人</p>	
令和4年度の変更点・改善点				

■ 教育委員会による評価（自己評価）

《令和4年度の実績・評価》

- 鑑賞教育の学習効果を高めるために事前学習用に学習指導の手引き（案）を作成し、各学校へ配付した。
- ギャラリートークを4回開催し、概ね好評を得られた。
- 美術館大学パートナーシップ事業の一環として、特別展において市内2大学と連携することにより、当館だけでは実施できない魅力的な企画を実施することができた。

《課題および今後の方針》

- 鑑賞教育用の学習指導の手引きを完成させ、学習効果を高めるよう工夫を凝らす。
- 美術館大学パートナーシップ事業において、引き続き大学との連携を深め、事業を展開していく。また、学生の来館者が増えるよう情報発信していく。